

令和4年度 卒業時における学修成果達成度調査報告書

令和5年6月7日

別府大学

大学企画運営会議

IRセンター

卒業時における学修成果達成度調査報告

別府大学 IR センター

卒業時における学習成果達成度調査の目的

本学では平成 30 年に 3 ポリシーの見直しを実施し PDCA サイクルのシステムを確立した。この PDCA サイクルにおいて、学修成果の評価指標の一つとして学生自身による学修達成度評価を掲げており、すでに「ポートフォリオ学修支援システム」において半期毎に学生による履修科目毎の自己評価が実施・蓄積され学生指導・教育改善に活用されているところである。本学の教育・研究環境のさらなる向上を目的として、この科目毎の学修達成度の自己評価を総括するための在学期間全体を通じた学修成果の達成度調査を卒業時に実施する。

1. 調査の実施方法

調査の実施は、原則として e-learning システム (moodle) のアンケート機能を利用して、ネットワーク上からの回答とした。個別に筆記による回答が必要なものについては、印刷したものに回答を願い、代理入力を行った。

調査対象

別府大学全学部全学科を卒業することが確定している学生 499 名を調査対象とした。中間的な回答状況を把握し、未回答者は試験期間や卒論発表等で個別指導を願った。さらに成績発表時や、卒業式終了後などで調査用紙または web どちらかの回答を求めていくことで回答率 90%以上を目標とした。

調査期間

調査期間は、2022 年 9 月 12 日～9 月 22 日及び 2023 年 1 月 10 日～3 月 20 日を調査期間として、調査を実施した。

調査内容

調査の内容は本学のディプロマポリシーで設定されている項目に基づいて、1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する質問（8 項目）、2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）に関する質問（2 項目）、3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）に関する質問（5 項目）、その他（正課外活動の状況など）として、自由回答 3 問を含む 9 項目について、学生がどのような主観的達成度を感じているかについて調査した。

調査の各設問については、資料 1 として、本報告書の文末に添付した。

2. 調査実施結果

1) 学習成果達成度調査の回収実績

各学科の卒業生数と調査回答数と回答率を下の表1にまとめた。大学全体での回答実績は94%となった。

表1. 卒業時における学習成果達成度調査回答状況

所属学科	卒業生数	回答数	未回答数	回答率
国際言語・文化学科	86	77	9	90%
史学・文化財学科	104	102	2	98%
人間関係学科	79	77	2	97%
食物栄養学科	75	73	2	97%
発酵食品学科	39	38	1	97%
国際経営学科	116	102	14	87%
計	499	469	30	94%

自由記述については、個人情報保護の観点から内容を一部削除又は変更しております。

調査項目ごとに、大学全体及び学科別の主観的修得状況についての集計結果をそれぞれの百分率により、グラフ化した。

1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）

教養の（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）の項目として、(1) 思考力や表現力などの基礎的素養、(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解、(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力、(4) 人間と文化の探求に必要な教養、(5) 現代社会の理解に必要な教養、(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養、(7) 情報処理の基本的なリテラシー、(8) 英語の基本的なリテラシーの修得について質問を行った。

(1) 思考力や表現力などの基礎的素養（全学・各学科）

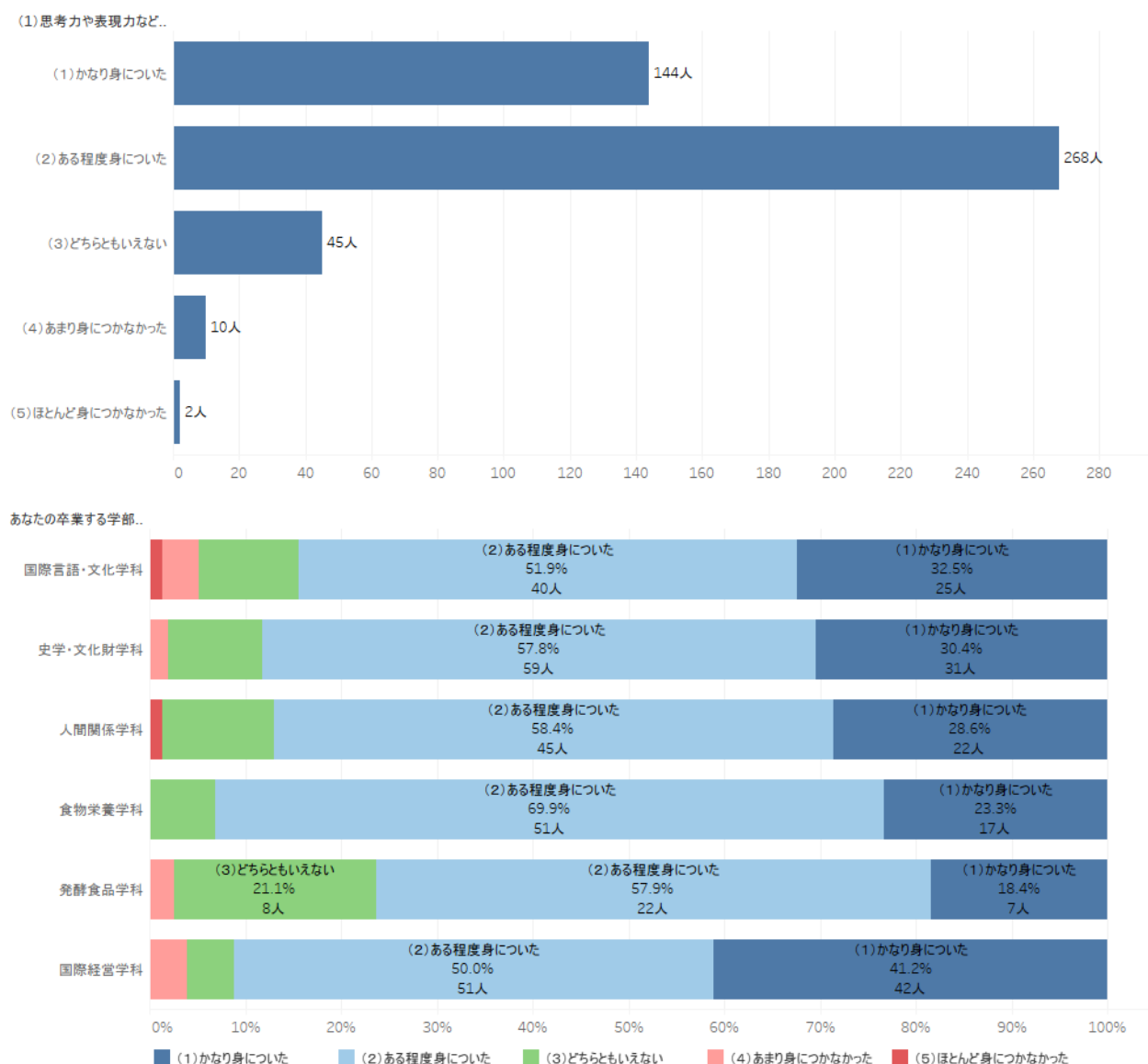


図1. 思考力や表現力などの基礎的素養の修得に対する主観的評価

思考力や表現力などの基礎的素養について大学全体では88%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い数値になっている。

(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解 (全学・各学科)

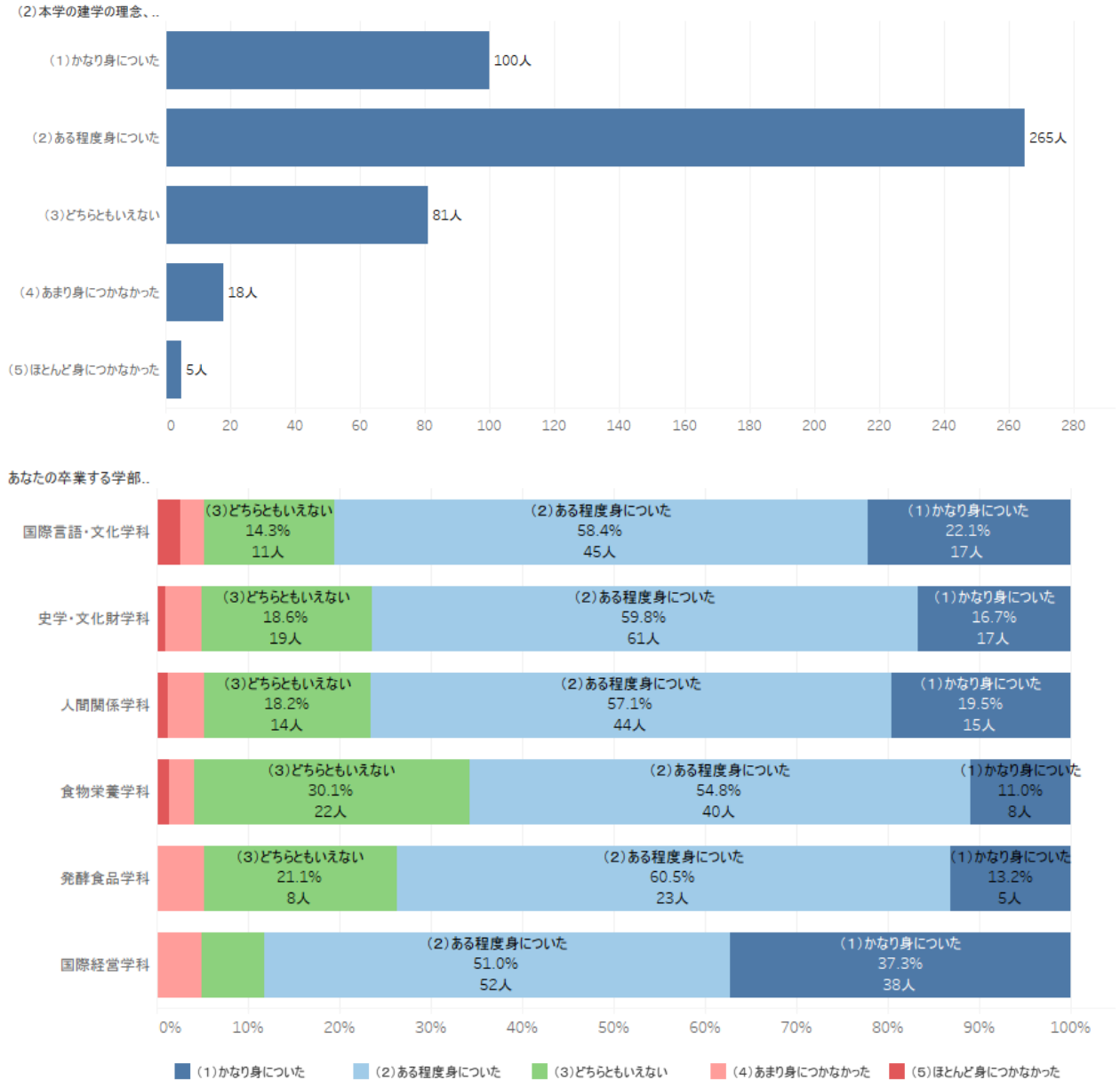


図2. 本学の建学の理念、教育方針等の理解に対する主観的評価

本学の建学の理念、教育方針等の理解について大学全体では78%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科は66%とやや低い数値となっている。

(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力（全学・各学科）

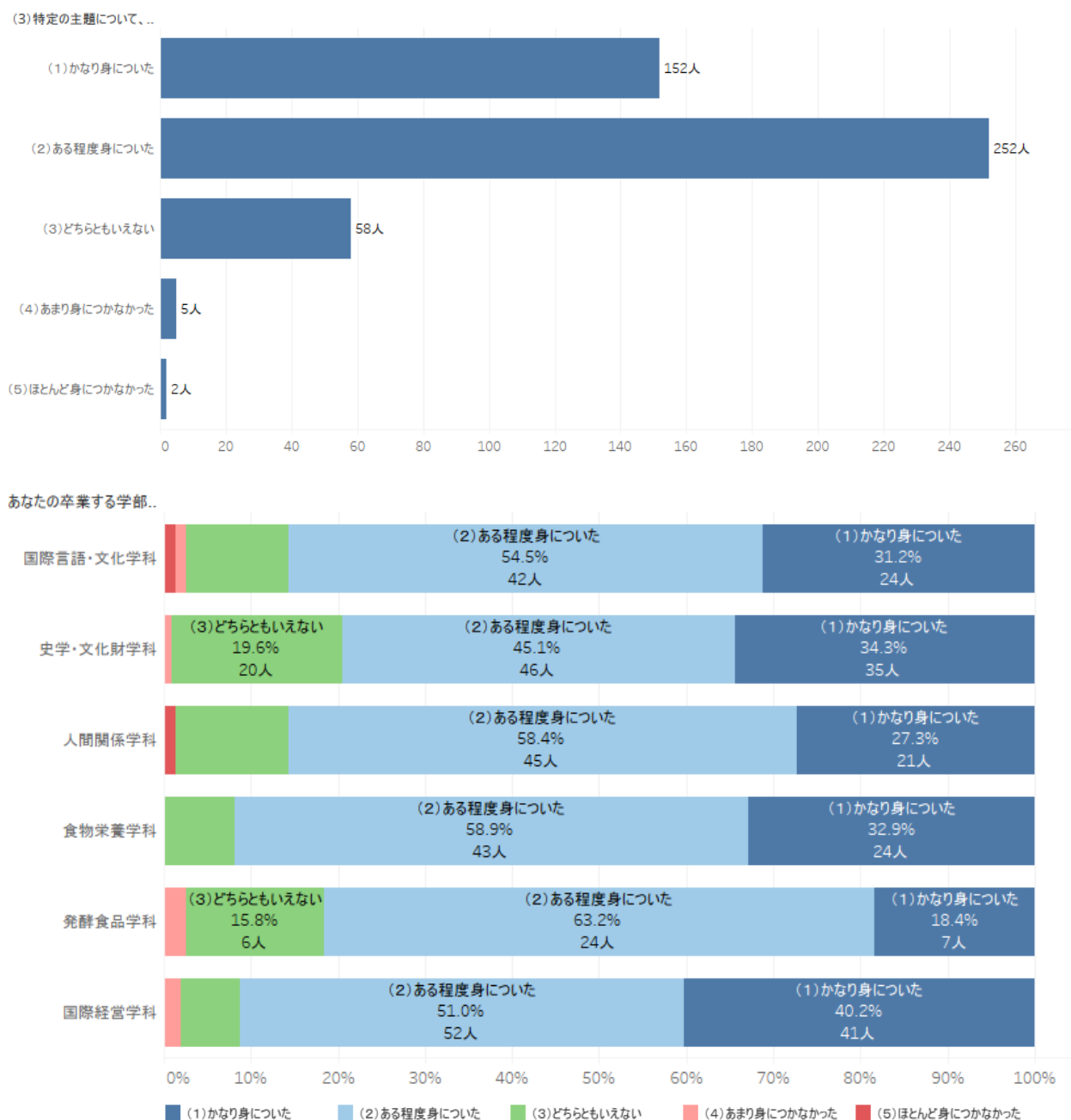


図3. 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力の修得に対する主観的評価

特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力について、大学全体では 86%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い数値となっている。

(4) 人間と文化の探求に必要な教養（全学・各学科）

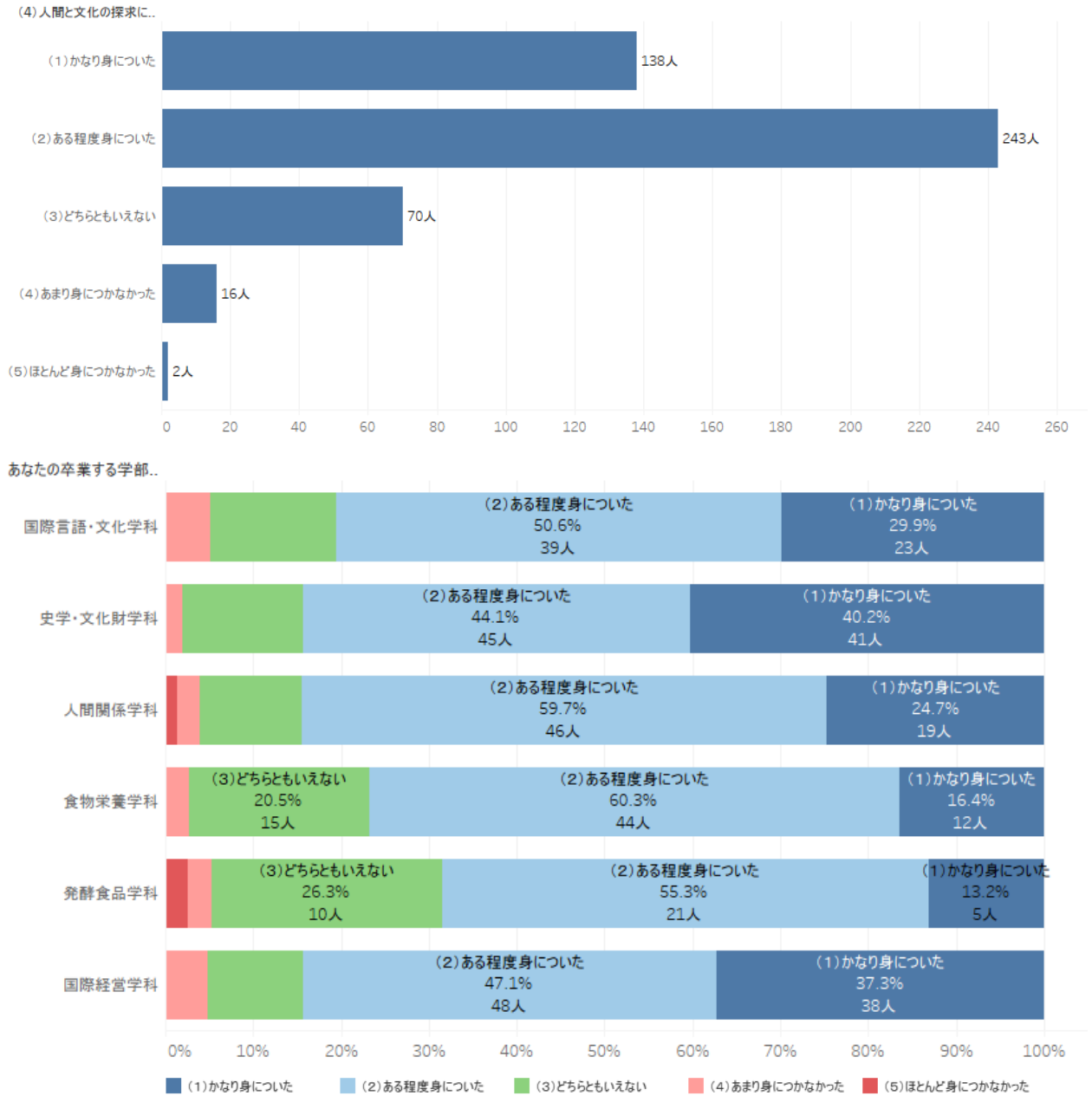


図4. 人間と文化の探求に必要な教養の修得に対する主観的評価

人間と文化の探求に必要な教養について大学全体では 81%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科は 69%とやや低い値を示した。

(5) 現代社会の理解に必要な教養（全学・各学科）

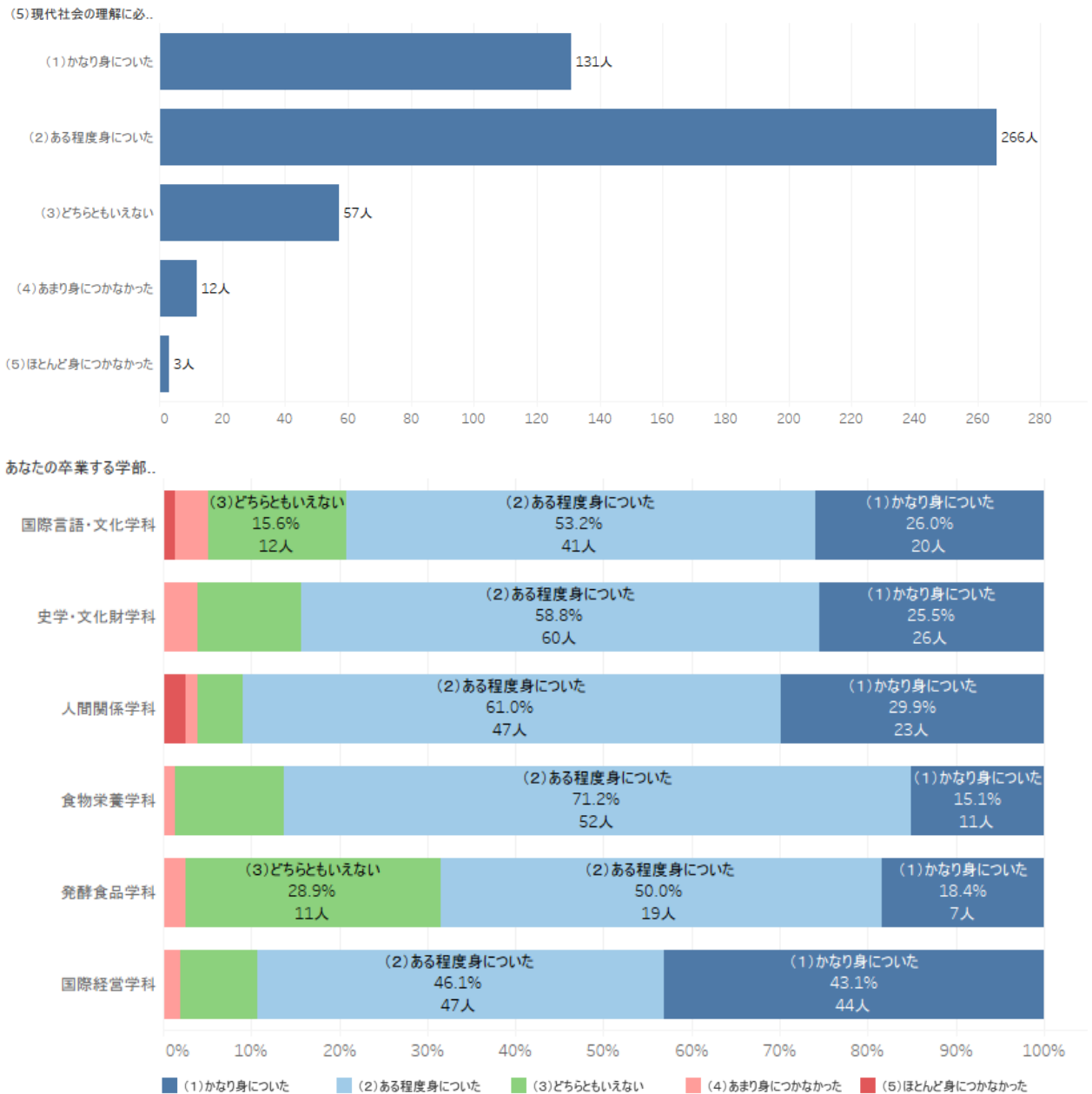


図5. 現代社会の理解に必要な教養の修得に対する主観的評価

現代社会の理解に必要な教養について大学全体では 85%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科は 68%とやや低い値を示した。

(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養（全学・各学科）

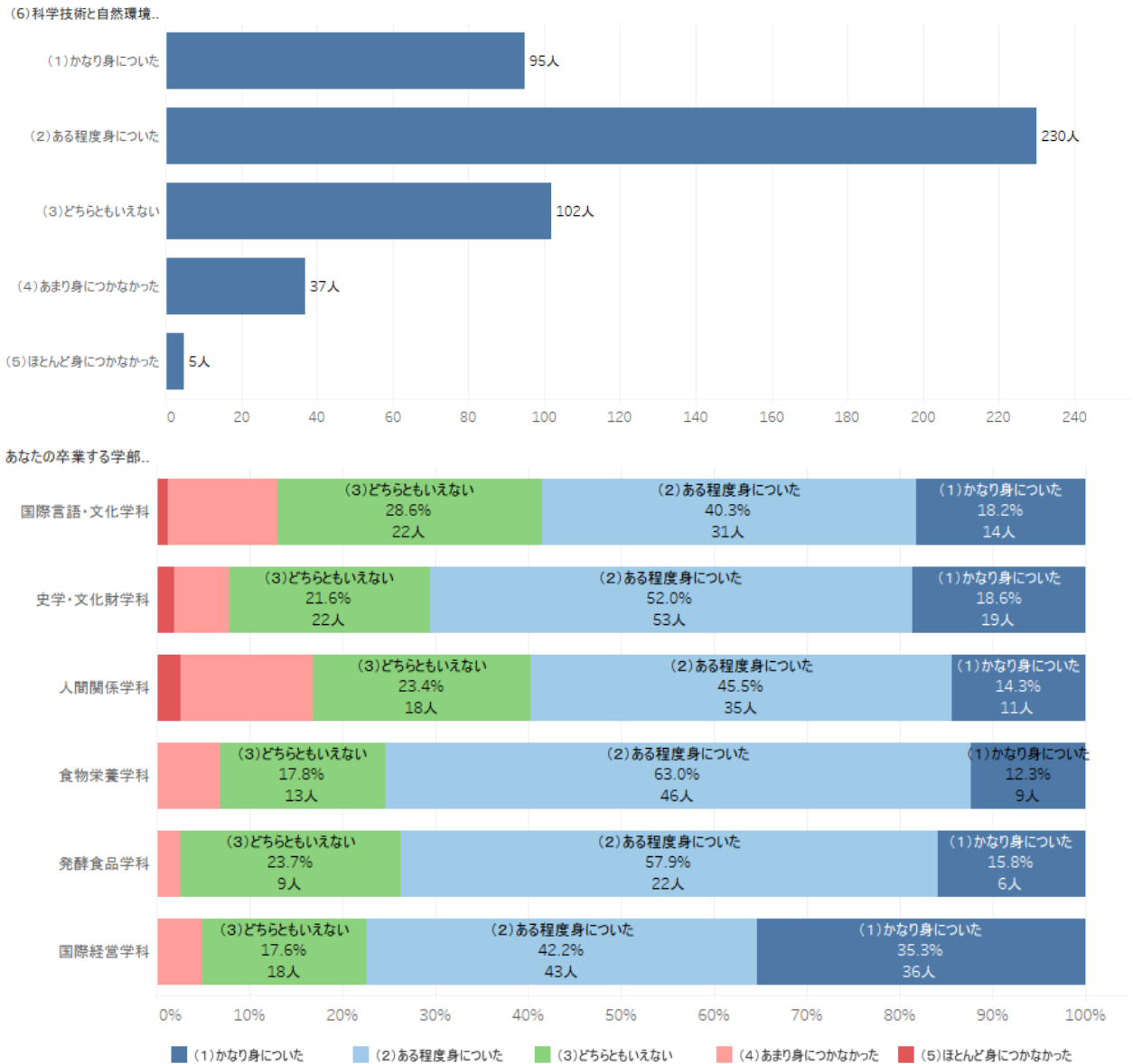


図 6. 科学技術と自然環境の理解に必要な教養の修得に対する主観的評価

科学技術と自然環境の理解に必要な教養について大学全体では 69%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。国際言語・文化学科と人間関係学科は、60%未満とやや低い値を示した。国際経営学科は 76%とやや高めの値となっている。

(7) 情報処理の基本的なリテラシー（全学・各学科）

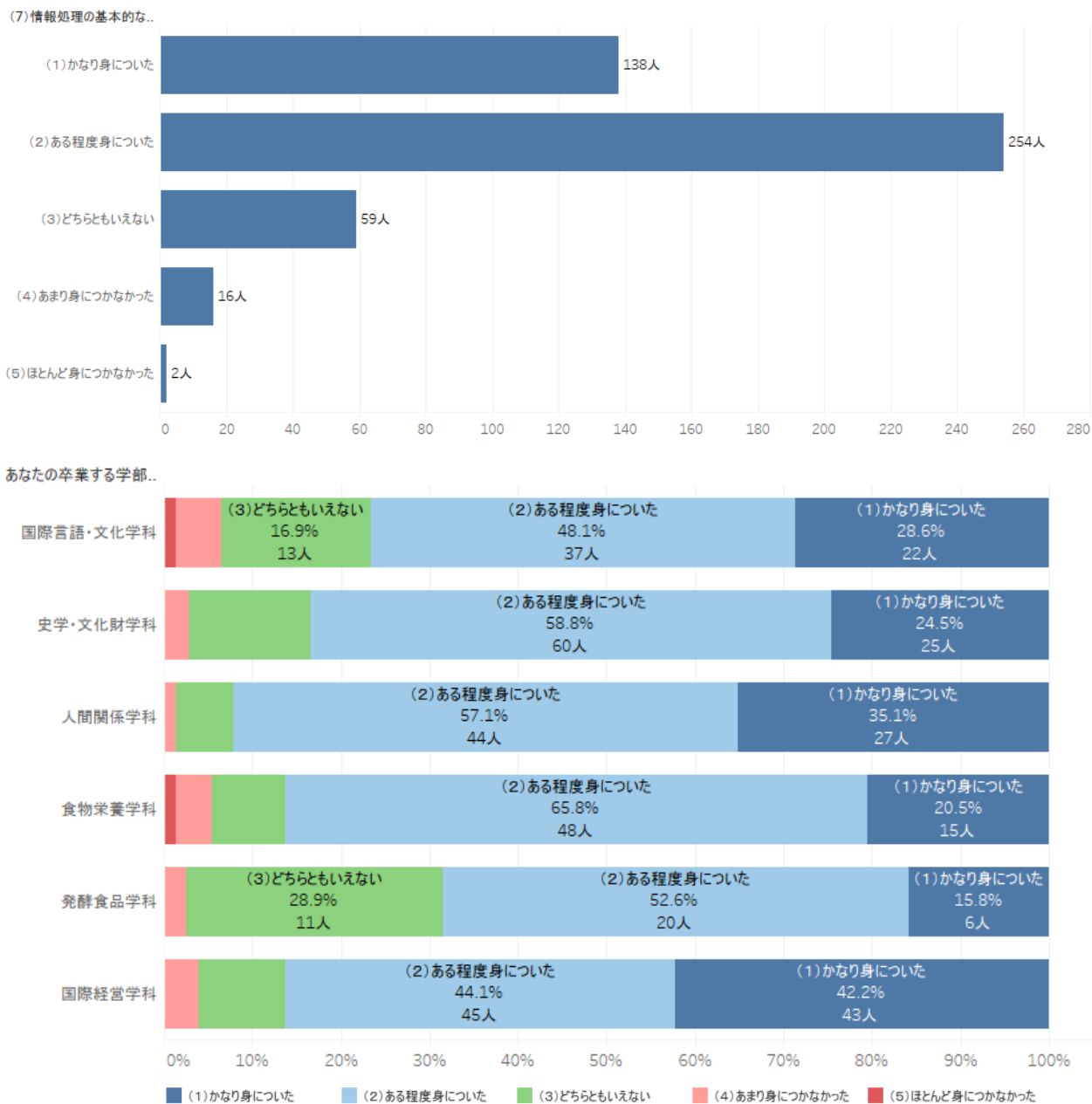


図7. 情報処理の基本的なリテラシーの修得に対する主観的評価

情報処理の基本的なリテラシーについて大学全体では 84%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。人間関係学科は 90%以上とかなり高い値を示した。発酵食品学科は 69%とやや低い値を示した。

(8) 英語の基本的なリテラシー（全学・各学科）

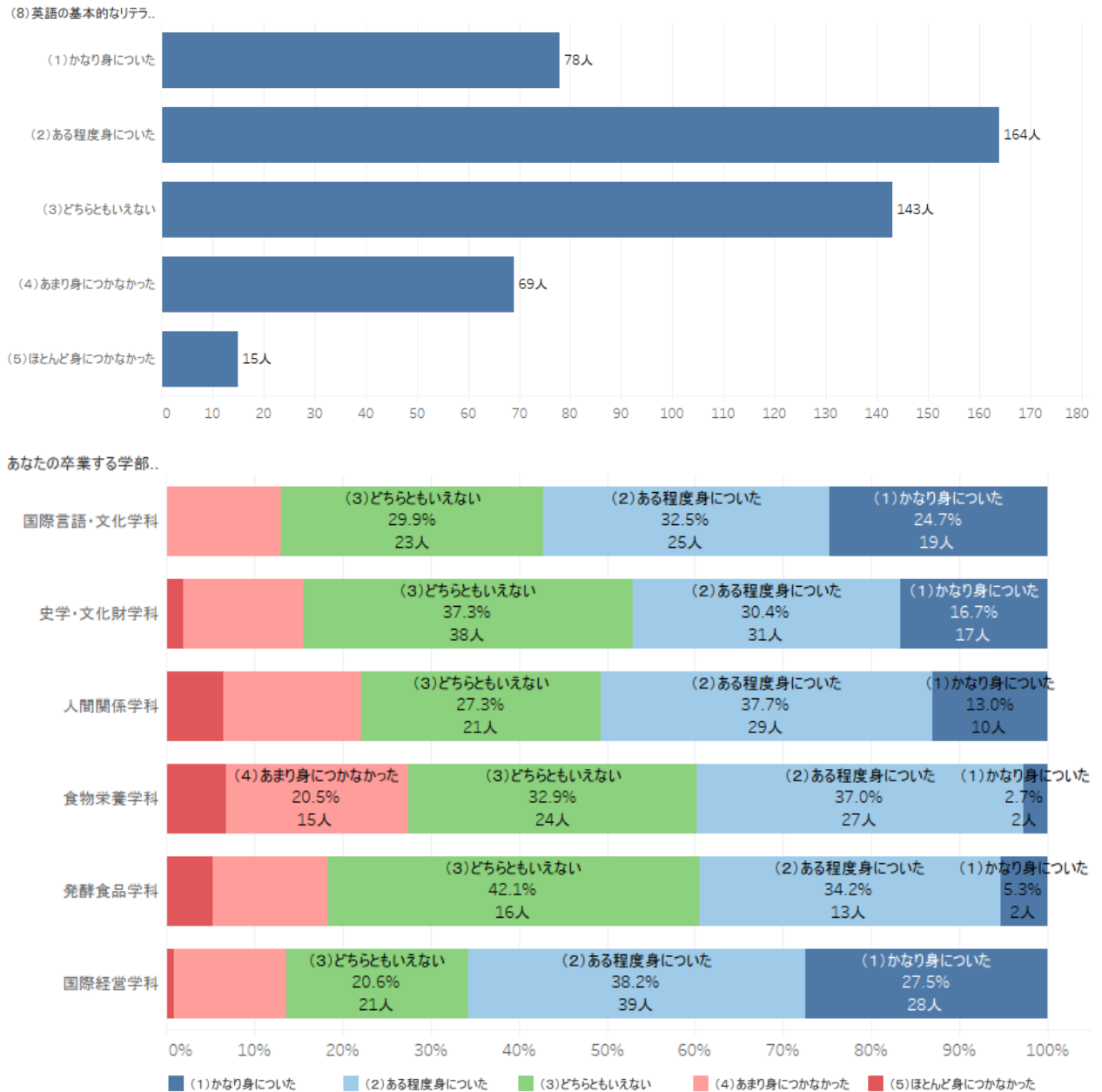


図 8. 英語の基本的なリテラシーの修得に対する主観的評価

英語の基本的なリテラシーについて大学全体では 52%の学生が、「ある程度身についた」以上で低い回答になっている。食物栄養学科は 66%とやや高い値を示した。

2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）

専門力について（1）専門分野の基本的な知識や技術の修得状況、（2）専門分野のもつ社会的な意義の明確な理解の2点について主観的修得状況を問う質問を行った。

（1）専門分野の基本的な知識や技術の修得状況（全学・各学科）

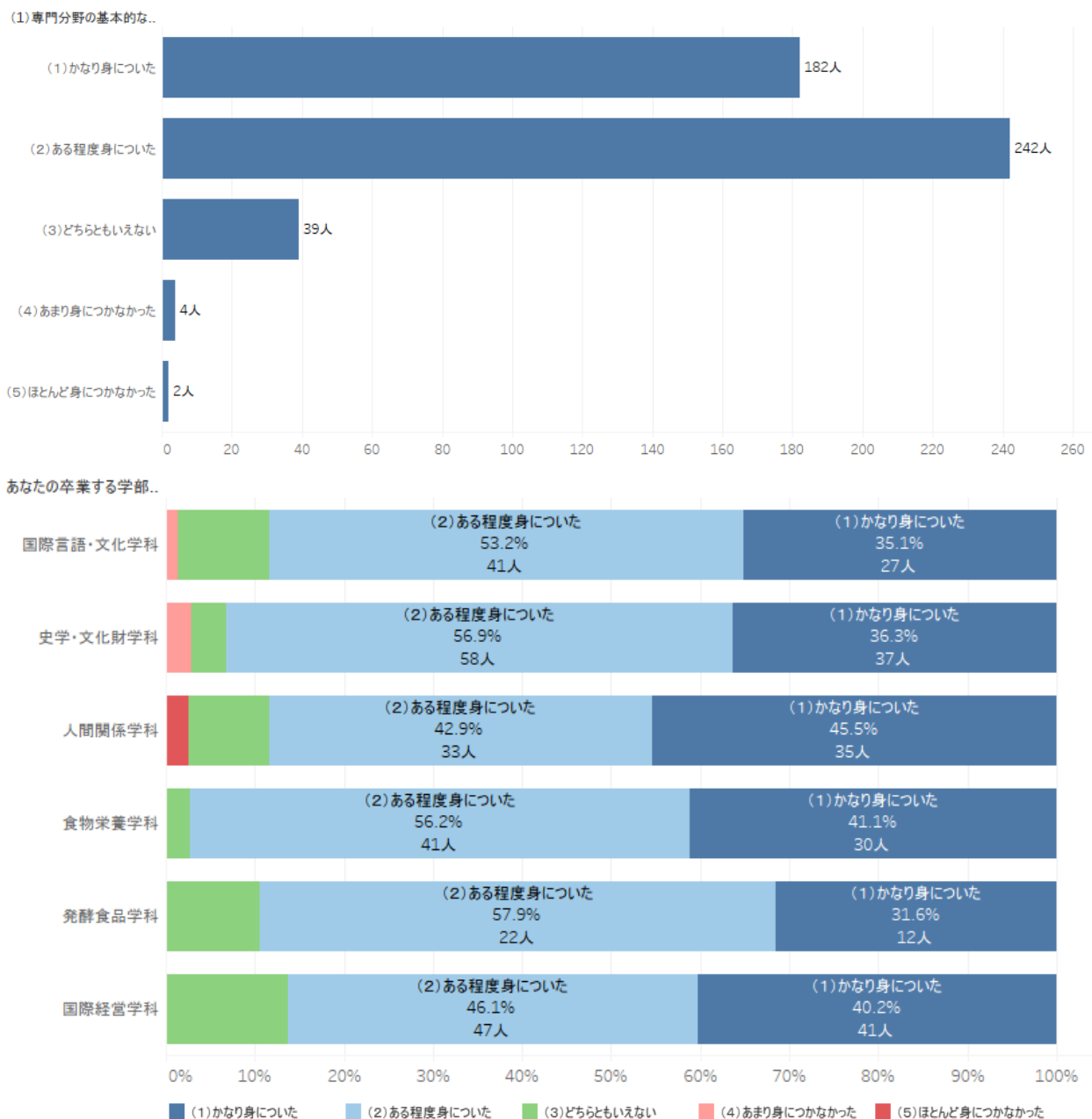


図9. 専門分野の基本的な知識や技術の修得に対する主観的評価

専門分野の基本的な知識や技術の修得について大学全体では90%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い値を示した。

(2) 専門分野のもつ社会的な意義の明確な理解 (全学・各学科)

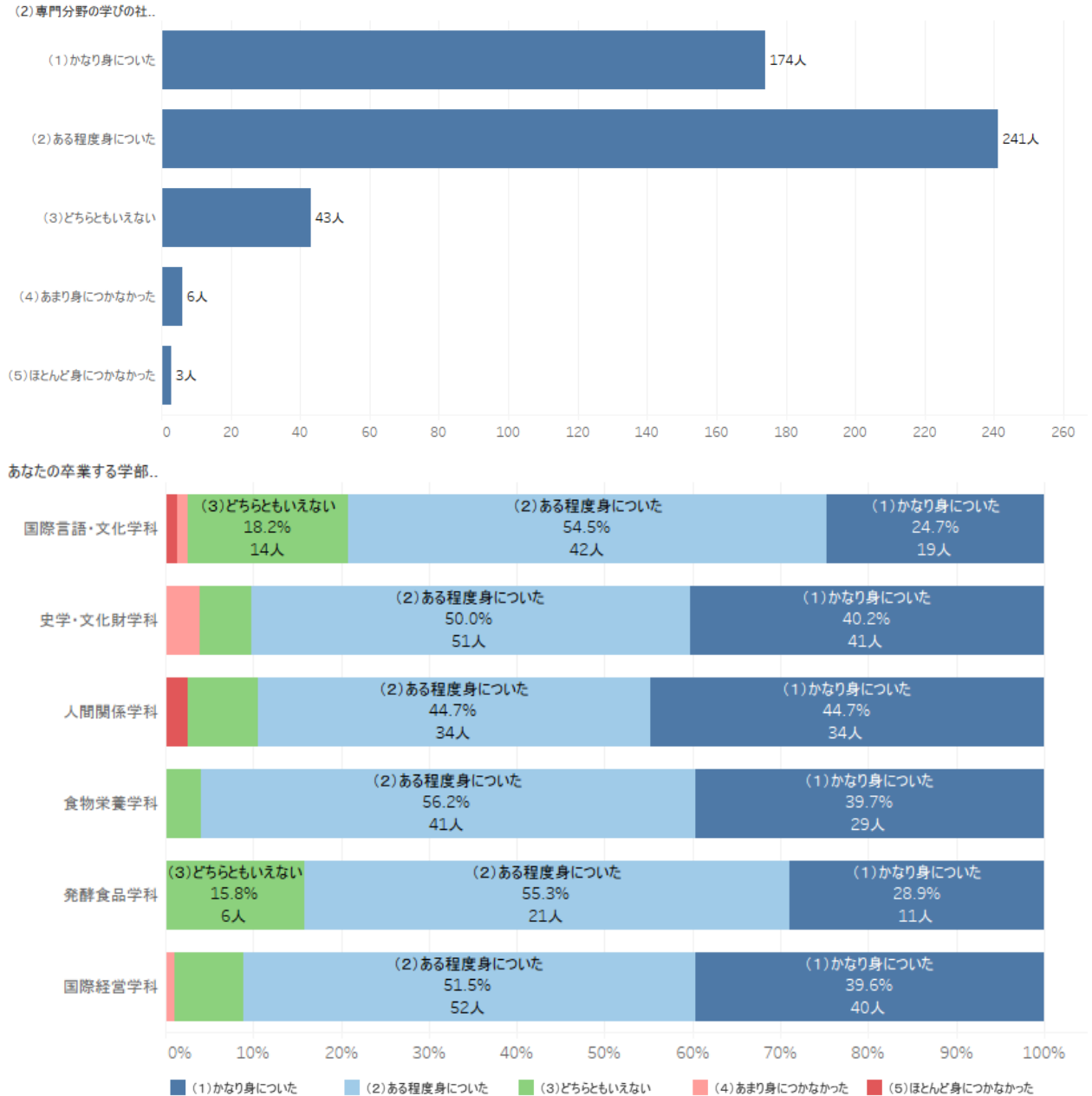


図 10. 専門分野のもつ社会的な意義を明確な理解の修得に対する主観的評価

専門分野のもつ社会的な意義の明確な理解について大学全体では 89%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科と国際経営学科は 90%を超える高い値を示した。

3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）

汎用力（社会で活躍できる汎用性のある能力）の修得については、(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）、(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）、(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力、(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけ、豊かなコミュニケーション力、(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力（情報収集・分析力、PCスキルなどを含む）について、主観的修得状況を質問した。

(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）（全学・各学科）

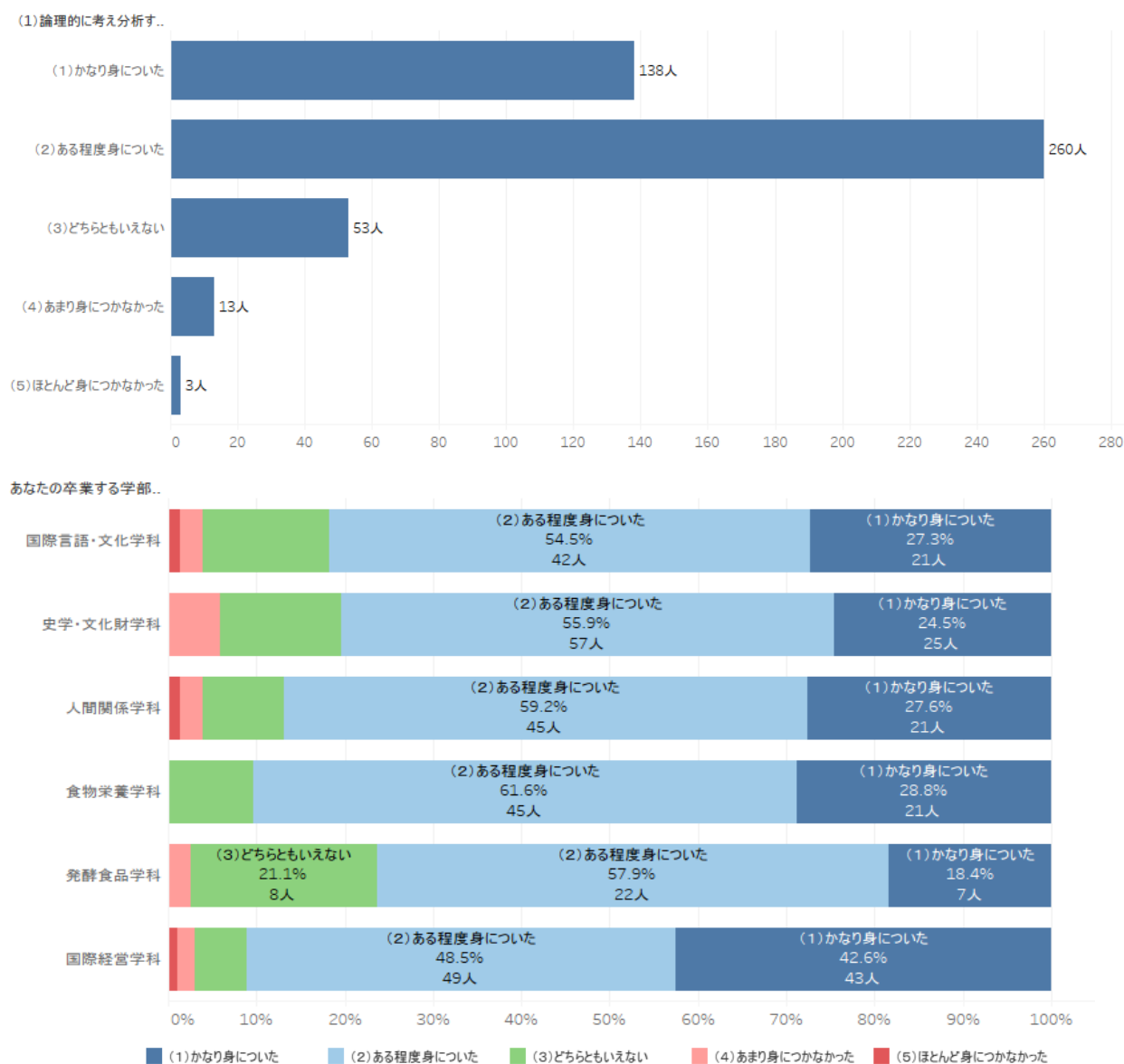


図 11. 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力の修得に対する主観的評価

論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）について大学全体では85%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科と国際経営学科は90%を超える高い値を示した。

(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）（全学・各学科）

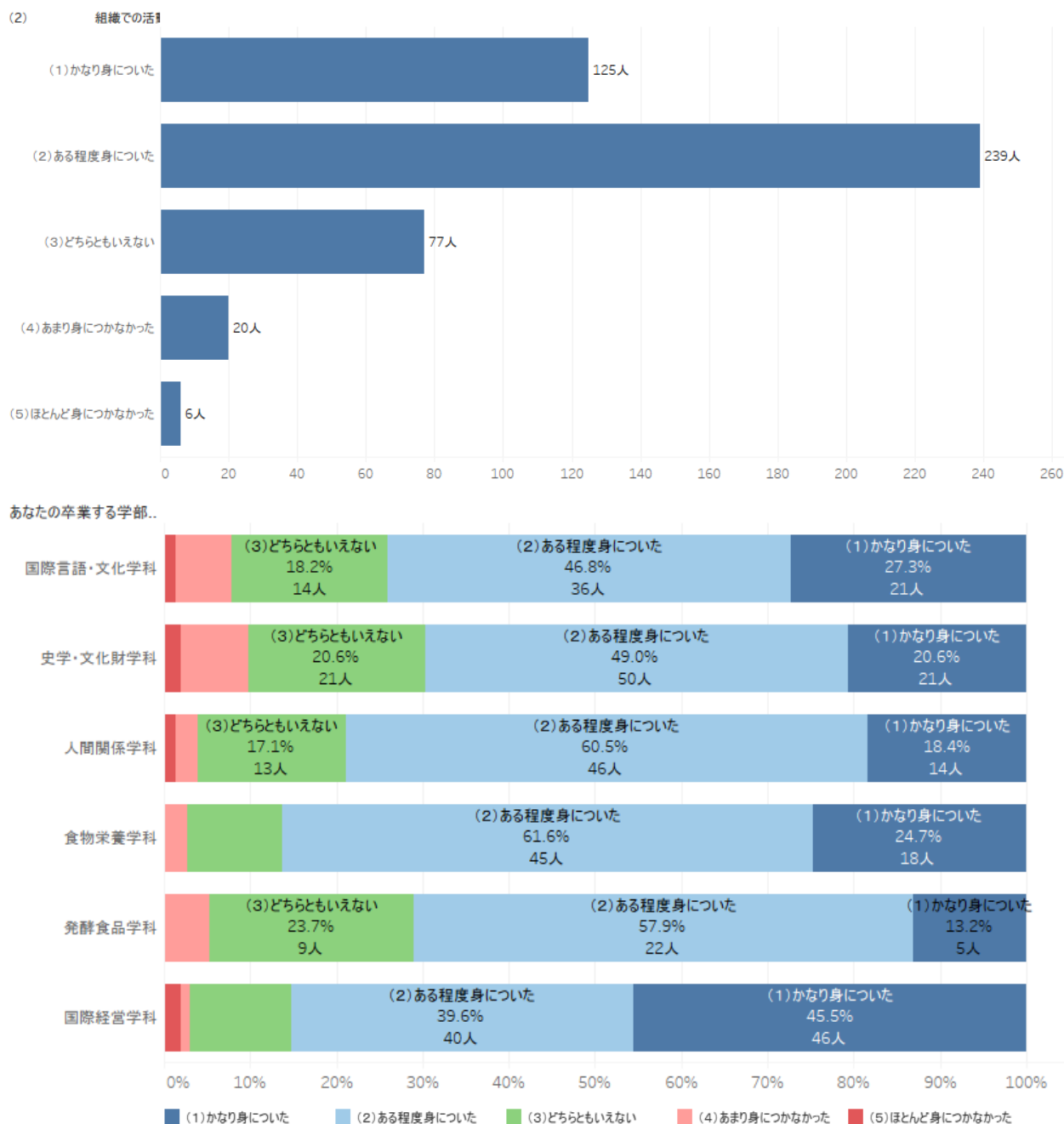


図 12. 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）の修得に対する主観的評価

組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する

力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）について大学全体では 78%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科と国際経営学科は 80%を超える値を示した。

(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力（全学・各学科）

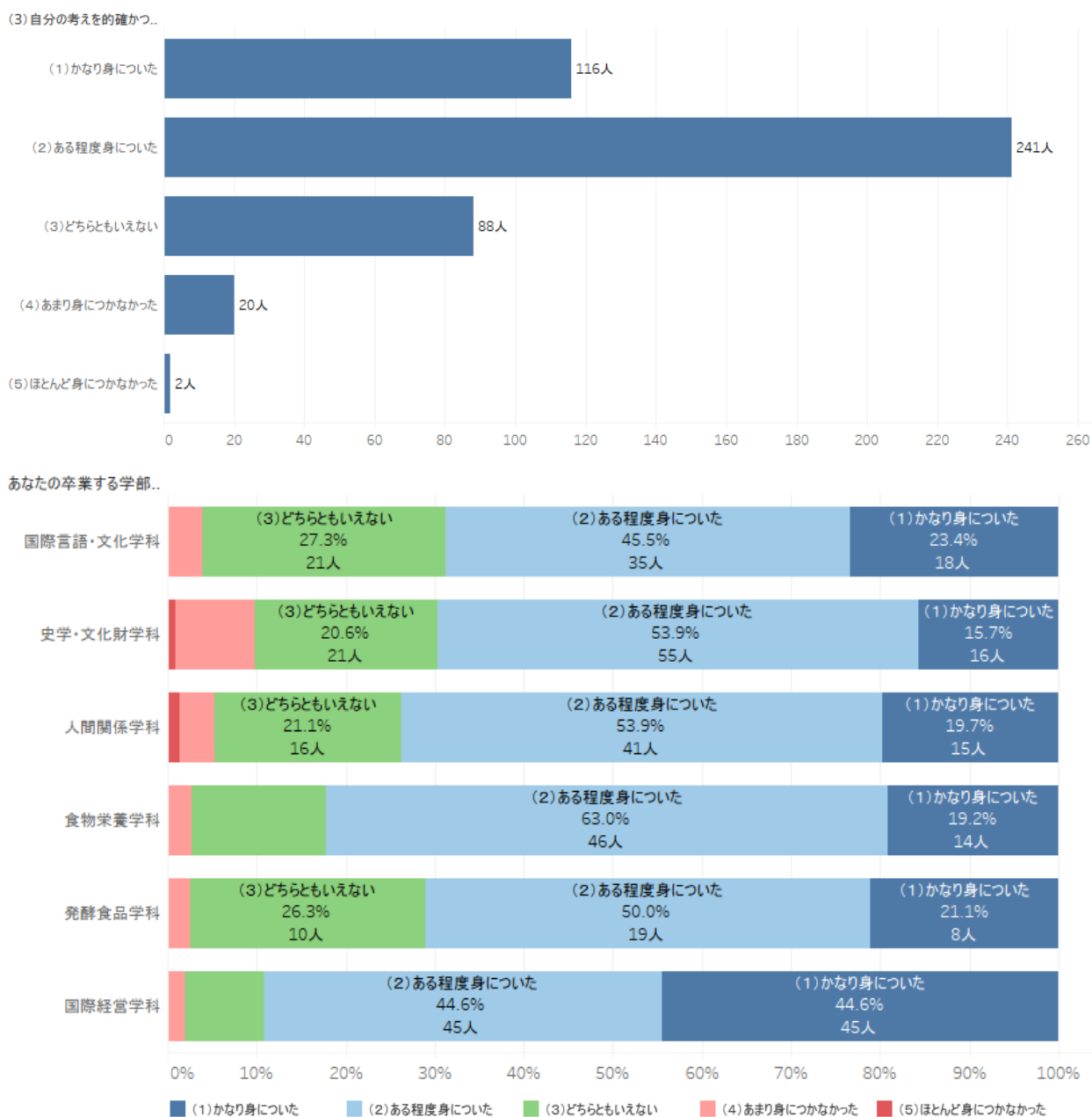


図 13. 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力の修得に対する主観的評価

自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力について大学全体では 76%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。国際言語・文化学科は 70%未満とやや低い値を示した。

(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力 (全学・各学科)

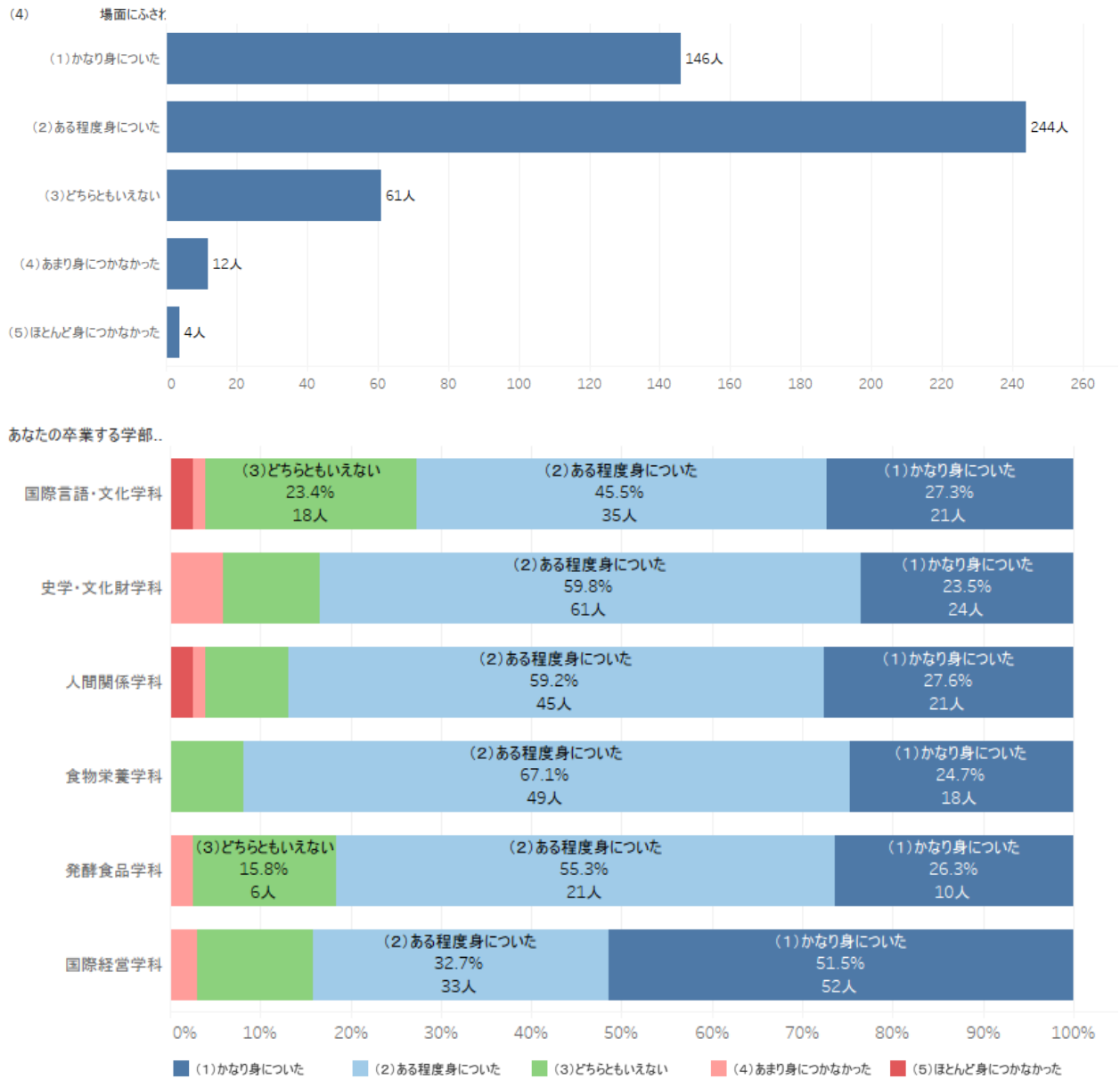


図 14. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力の修得に対する主観的評価

場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力について大学全体では 84%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科は 90%を超える高い値を示した。

(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力(情報収集・分析力、PCスキルなどを含む)(全学・各学科)

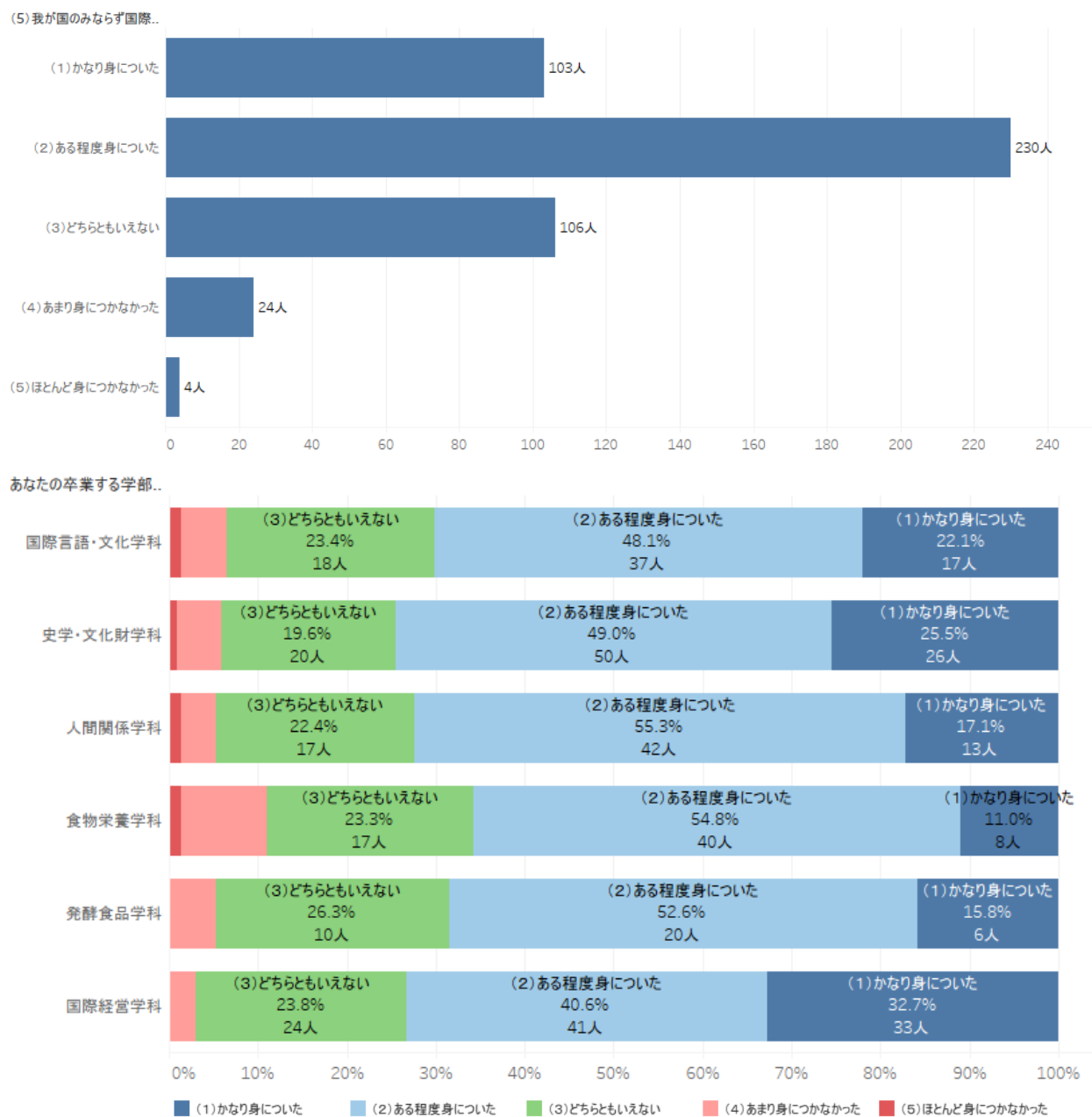


図 15. 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力の修得に対する主観的評価

我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力について大学全体では71%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科は66%とやや低い値を示した。

4. その他

その他として (1) 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだこと、(2) 卒業論文・卒業研究の研究室(ゼミ)の施設・設備の満足度、(3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見(自由記述)、(4) あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験(自由記述)、(5) 卒業後の進路への満足度、(6) 大学で学びと自身の進路への貢献度、(7) 大学に期待すること(自由記述)、(8) 卒業する学科に期待すること(自由記述)、(9) 後輩へのメッセージ(自由記述)の質問を行った。

(1) 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだことについて、学科別の集計を図16に示した。

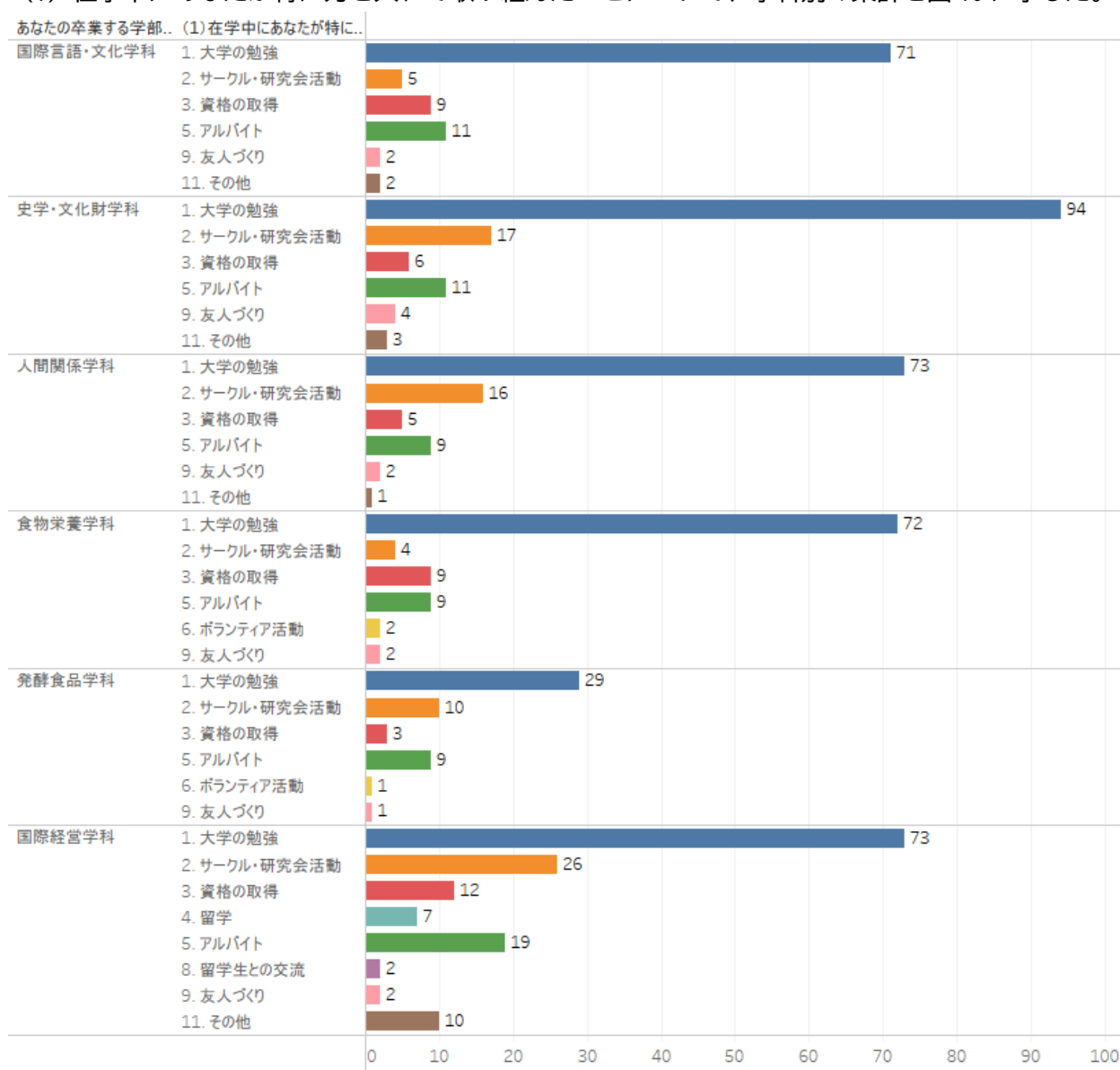


図16. 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだこと

6 学科を超えて、複数回答において最も多く回答があったものは、大学の勉強であった。また次いでサークル・研究会活動、アルバイト、資格の取得の順にあげられた。一方で、留学生との交流やボランティア活動などには経験者が少ない傾向があった。

(2) 卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度についての集計を図 17 に示した。
（全学・各学科）

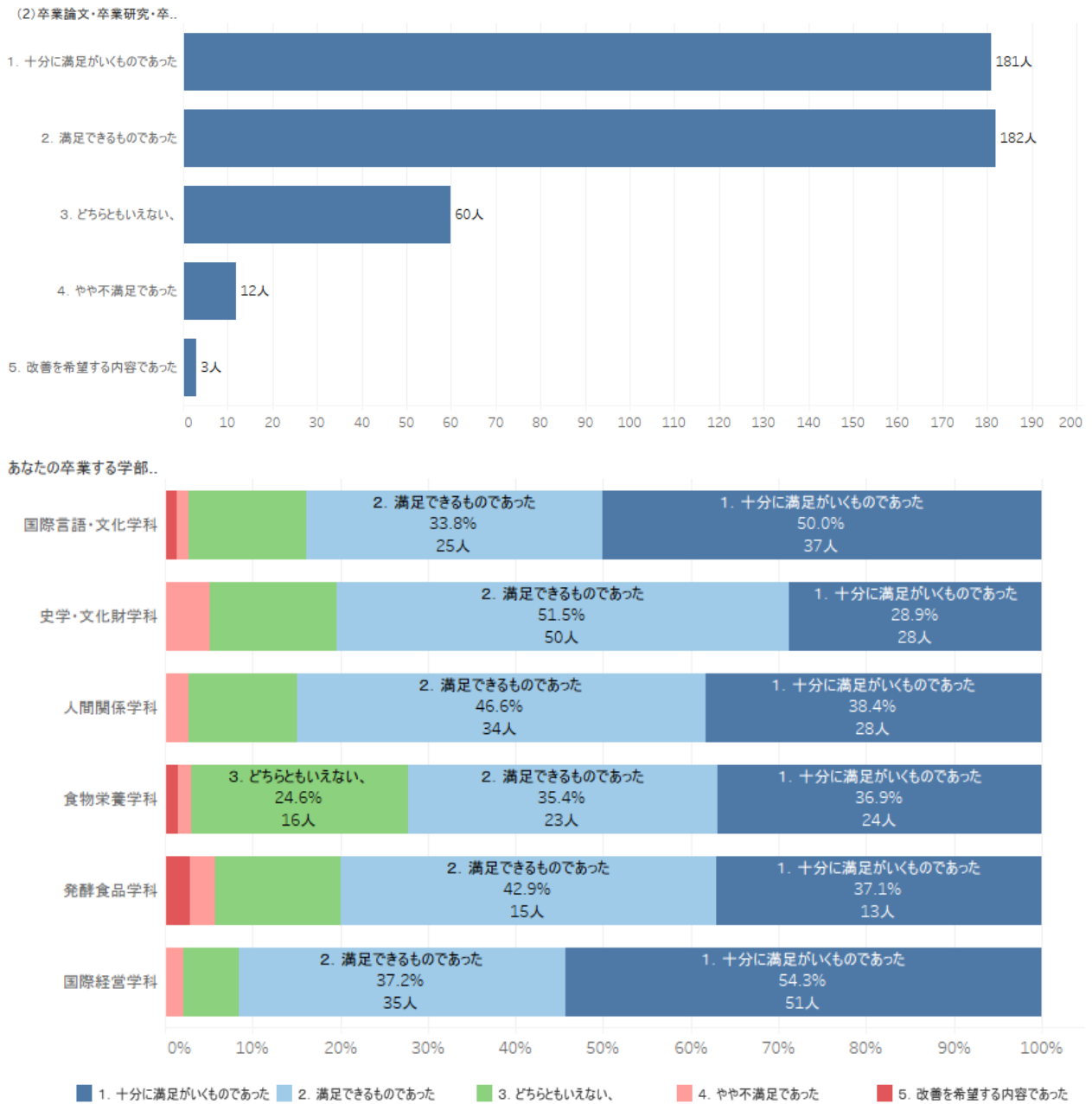


図 17. 卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度

卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度については、大学全体では 83%の学生が、「満足できるものであった」以上で回答している。国際経営学科では 90%を超える高い値を示した。

(3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、分析した結果を図 18 に表示する。

(<https://textmining.userlocal.jp/>)

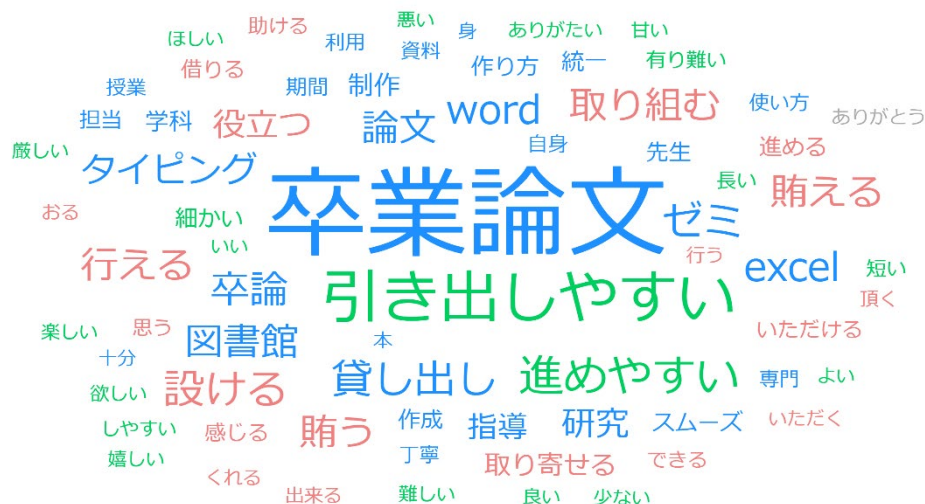


図 18. 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見に関する自由記述のワードクラウド分析結果

学生からの自由記述にある、卒業論文作成における図書の貸し出しについての不安などが関連を持っていることが示される。自由記述の回答の全文を報告書末に資料 2 として添付する。

(4) あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、分析した結果を図 19 に表示する。

(<https://textmining.userlocal.jp/>)

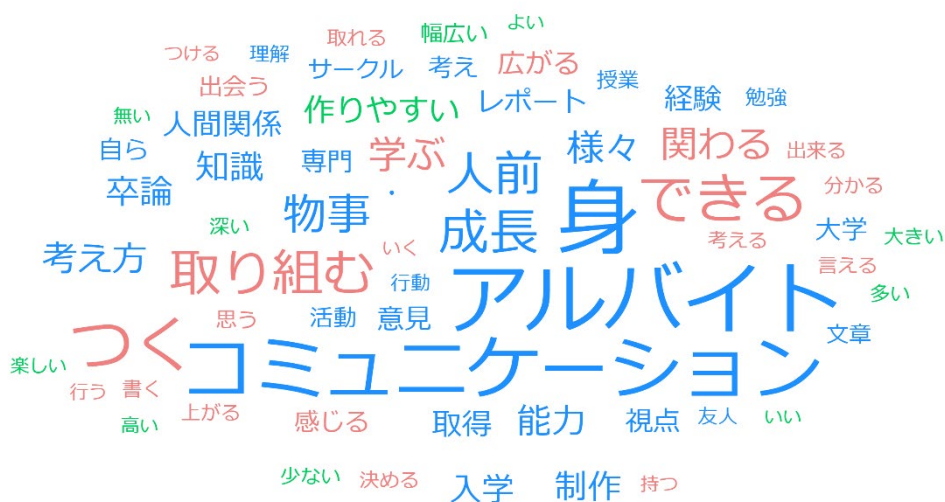


図 19. 在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述のワードクラウド分析結果

自分が成長できたと思う経験についての自由記述をワードクラウド分析した結果、アルバイトやコミュニケーション能力など、様々な人々との関わりと学生の成長との関連が示された。自由記述の回答の全文を報告書末に資料 3 として添付する。

(5) 卒業後の進路への満足度についての集計を図 20 に示した。(全学・各学科)

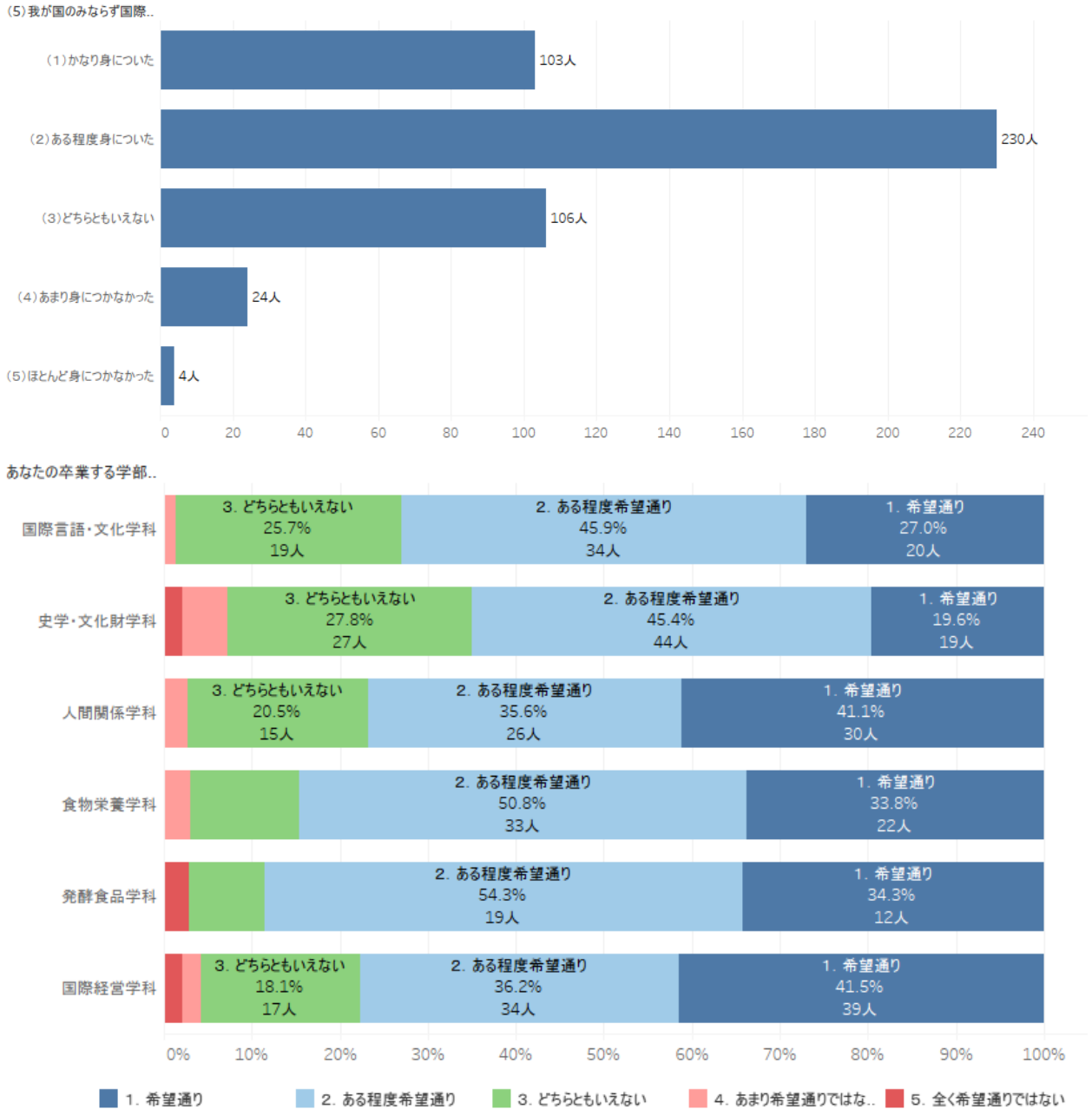
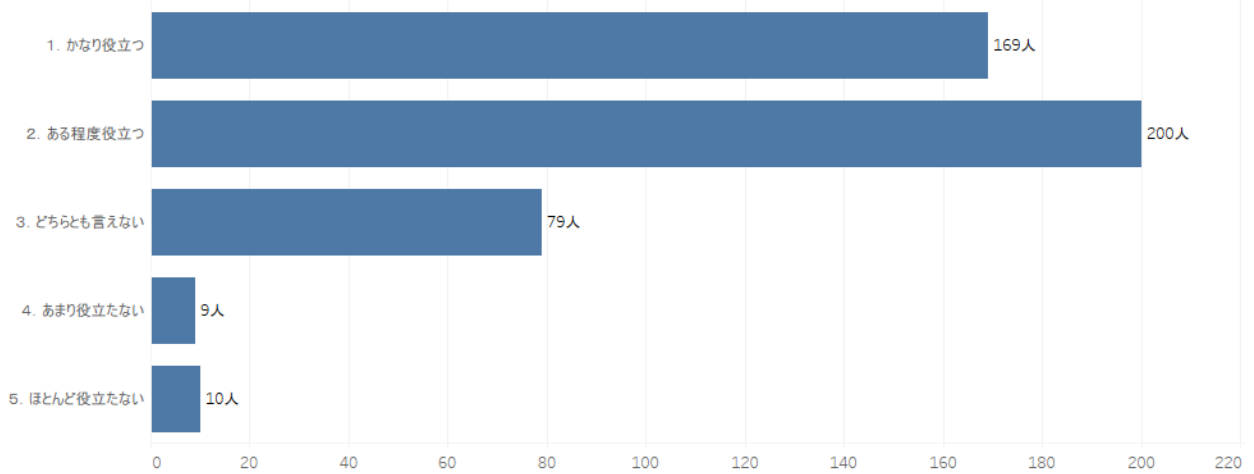


図 20. 卒業後の進路への満足度

卒業後の進路への満足度については、大学全体では 71%の学生が、「ある程度希望通り」以上で回答している。食物栄養学科と発酵食品学科は 80%を超える値を示した。史学・文化財学科は 65%とやや低い値を示した。

(6) 大学での学びと自身の進路への貢献度についての集計を図 21 に示した。(全学・各学科)

(6) 大学で学んだこと..



あなたの卒業する学部..

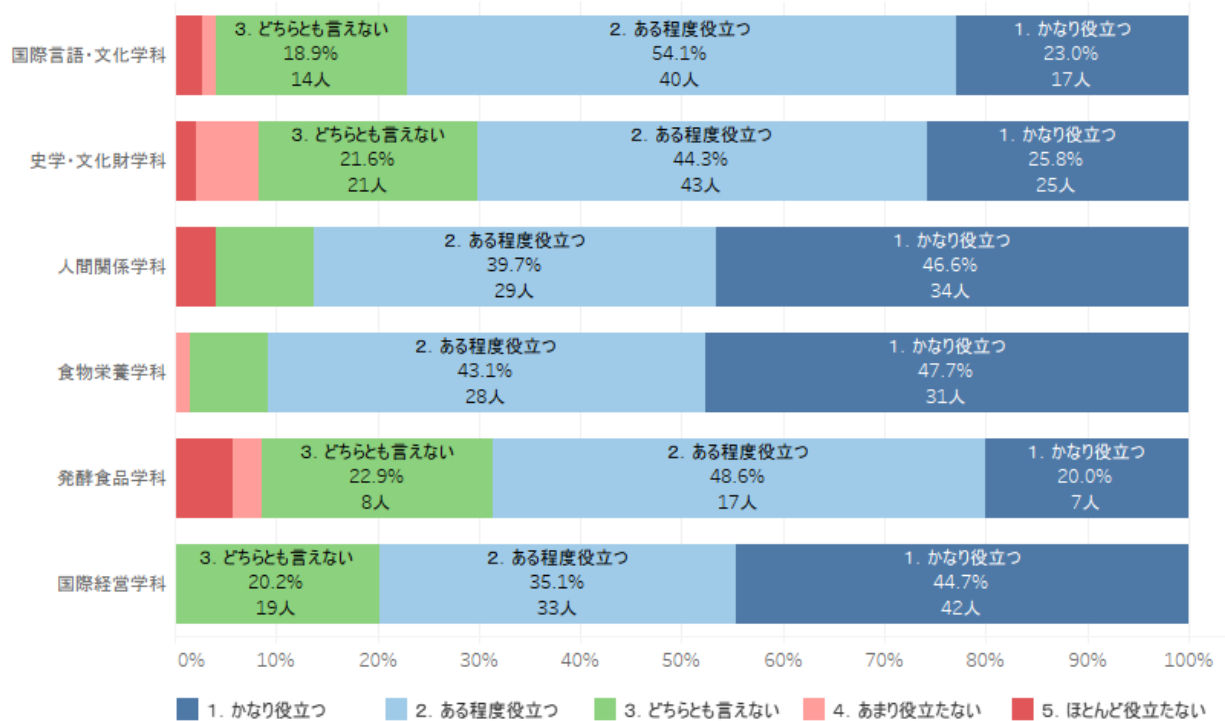


図 21. 大学での学びと自身の進路への貢献度

大学での学びと自身の進路への貢献度については、大学全体では 79%の学生が、「ある程度役立つ」以上で回答している。食物栄養学科は 90%を超える高い値を示した。

(7) 大学に期待することに関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて分析した結果を図 22 に表示する。(https://textmining.userlocal.jp/)

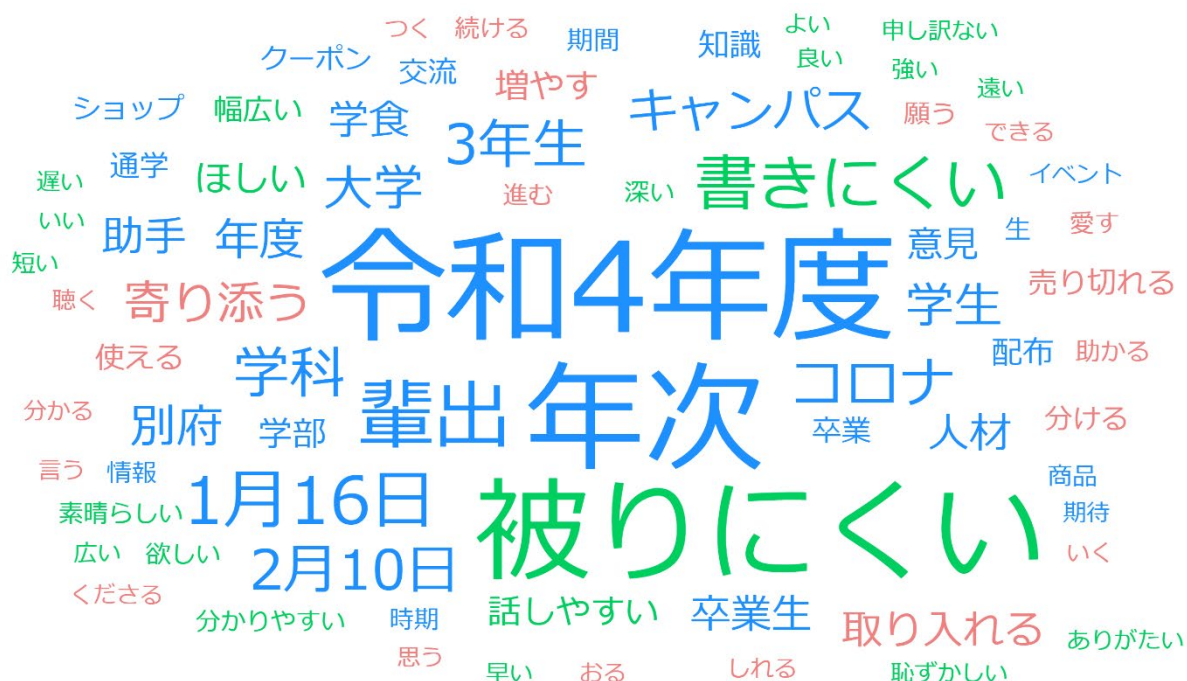


図 22. 大学へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

学生の記述にあるように、他大学との交流や学内クーポンなど大学が検討すべきことが述べられている。

(8) 卒業する学科に期待することに関する自由記述を学科ごとに、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、分析した結果を図 23～図 28 に表示する。(https://textmining.userlocal.jp/)。

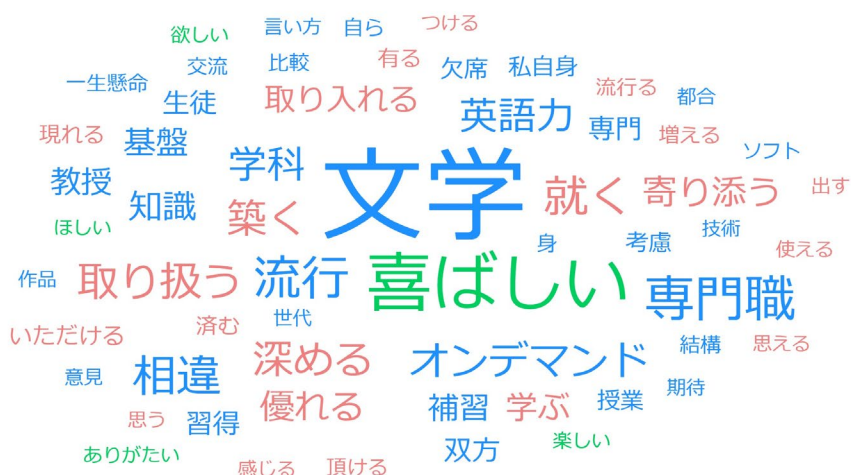


図 23. 国際言語・文化学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

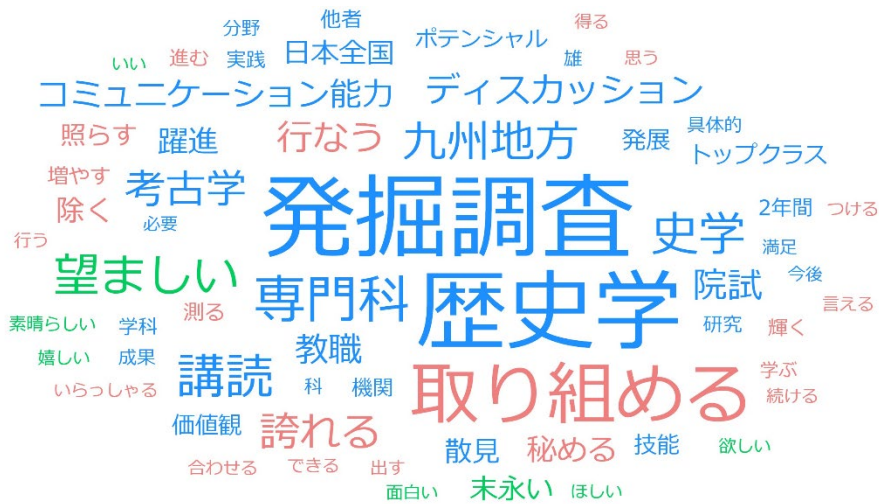


図 24. 史学・文化財学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

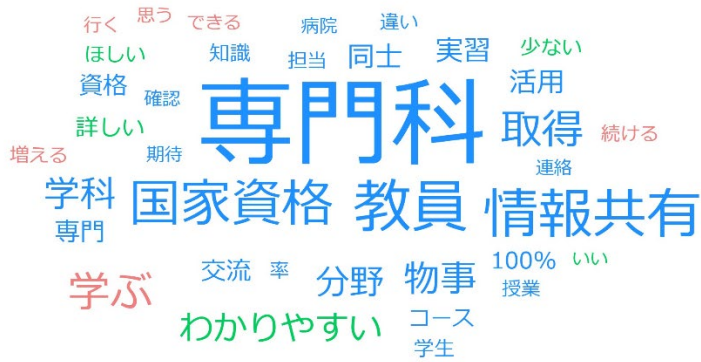


図 25. 人間関係学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

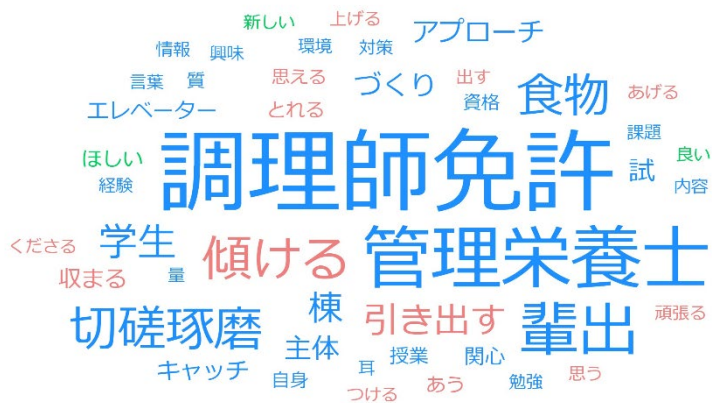


図 26. 食物栄養学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

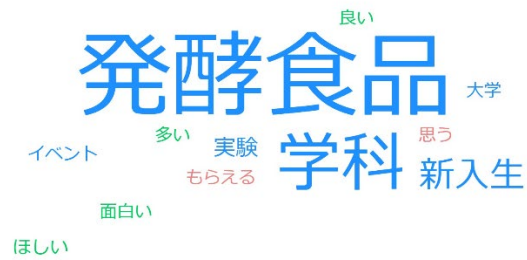


図 27. 発酵食品学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

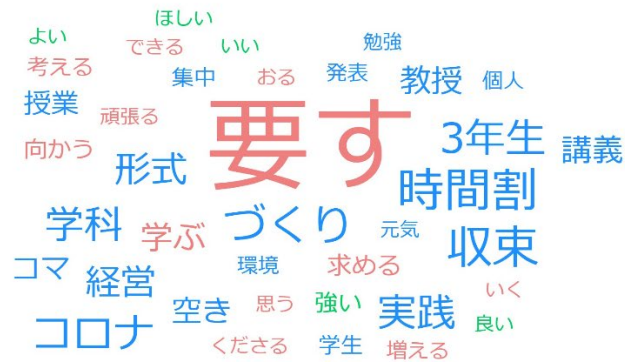


図 28. 国際経営学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

卒業学科へのメッセージでは、卒業する学生からの学科に対する様々な思いが表現されていた。

(9) 後輩へのメッセージに関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、分析した結果を図 29 に表示する。

(<https://textmining.userlocal.jp/>)。

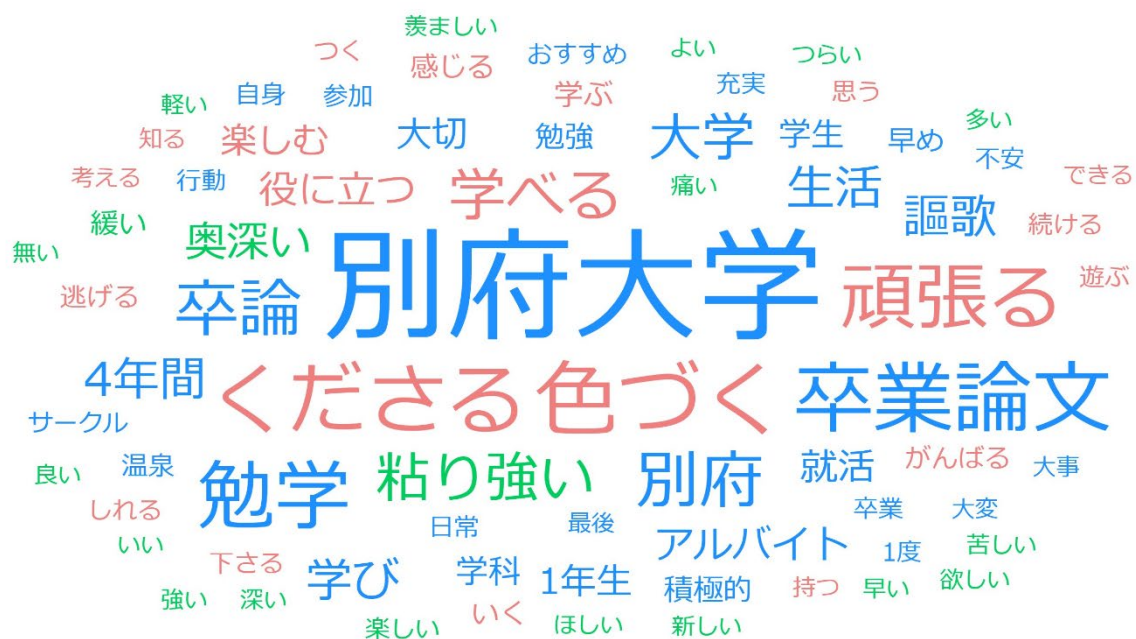


図 29. 卒業学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

後輩へのメッセージでは就職活動と卒業論文に対する思いや、学科での学びなど多岐にわたるメッセージが得られた。

5. まとめ

別府大学では令和4年9月、令和5年3月に卒業する学生を対象として、ディプロマポリシーの項目の定着確認をアセスメントする目的で、2022年9月12日～9月22日及び2023年1月10日～3月20日を調査期間として、卒業時調査を実施した。卒業することが確定している学生499名を調査対象として、回答率90%以上を目標とし、94%が回答した。

調査の内容は本学のディプロマポリシーで設定されている項目に基づいて、1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する質問（8項目）、2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）に関する質問（2項目）、3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）に関する質問（5項目）、その他（正課外活動の状況など）として、自由回答3問を含む9項目について、学生がどのような主観的達成度を感じているかについて調査した。

調査は学生自身の主観による達成度を「かなり身についた」、「ある程度、身についた」、「どちらともいえない」、「あまり身につかなかった」、「ほとんど身につかなかった」の5段階で回答してもらい、主観的達成度が「ある程度、身についた」と回答できる段階までを達成できていると考え、集計を行った。

1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する8項目についての主観的な修学状況は、大学全体では「(1) 思考力や表現力などの基礎的素養が身につきましたか」に対しては88%（昨年88%）、「(2) 本学の建学の理念、教育方針等を理解できましたか。」については78%（昨年72%）、「(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力を身につけましたか。」については86%（昨年86%）、「(4) 人間と文化の探求に必要な教養は身につきましたか。」については81%（昨年76%）、「(5) 現代社会の理解に必要な教養は身につきましたか。」については85%（昨年77%）、「(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養は身につきましたか。」については69%（昨年61%）、「(7) 情報処理の基本的なリテラシーは身につきましたか。」については84%（昨年75%）、「(8) 英語の基本的なリテラシーは身につきましたか。」については52%（昨年46%）という達成判定と評価できる結果となった。

2. 専門力としての「(1) 専門分野の基本的な知識や技術は身につきましたか。」に対しては90%（昨年87%）、「(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解できましたか。」に対しては89%（昨年83%）の達成判定と評価できる結果となった。

3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）としては、「(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は身につきましたか（判断力、創造力、企画力などを含む）。」は85%（昨年79%）、「(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は身につきましたか（主体性、協働性、傾聴力などを含む）。」は78%（昨年73%）、「(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は身につきましたか。」については76%（昨年70%）、「(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は身につきましたか。」については84%（昨年77%）、「(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力は身につきましたか（情報収集・分析力、PCスキルなどを含む）」については71%（昨年66%）の回答が達成判定できる結果であった。

教養では、昨年と比べて、微増な項目もあるが、(1)(3)以外は改善された。主観的な評価ではあるが、自信をつけるという教育効果は上がりつつあると評価できよう。6学科でばらつきが出ているが、

主観的評価なので単純比較はむづかしい。もともと素養がある学生が多い学科よりも、のびしろの多い学生の多い学科のほうが、達成感は強いことも想定できる。教養の意味づけからすれば、専門から遠い分野での理解度をあげることが課題となろう。英語の基本的なリテラシーは概して低めであるが、昨年より改善も見られるので、今後に注視したい。

専門力については、教養に比して高い数値を出している。知識、技術、社会的意義など、学生の自覚が高く、この部分のディプロマポリシーはほぼ達成していると評価できよう。

汎用力は、(1)判断力・企画力では1学科が80%を切り(昨年は4学科)、(2)協調性では1学科が70%を切り(昨年は2学科)、(3)自分の考えの表現力では2学科が70%を切る(昨年も2学科)など、実社会に出てからの弱点になりうる項目の改善が課題である。(5)国際関心は昨年より改善してはいるが、まだ低位であり、英語力の低さ(これも改善)とも連動している。

その他の(5)の進路の満足度では、とくに低い学科もあり、専門を生かせる職を期待したが一般就職である現状に、不本意な就職と受け止めている状況が窺われる。一方で非常に満足度が高い学科もある。(6)もこれに連動して、専門の勉強が就職につながらないと認識している学科学生と、専門が就職に直結していると認識している学科学生にそれぞれ対応している(1学科例外がある)。

自由記述回答は、今後の改善に参考になることが含まれているので、各学科は検討されたい。

以上

資料1. 別府大学卒業時調査の様式

別府大学 卒業時調査

この調査は別府大学での学びの成果について、本学が定めた学位授与の方針（Diploma Policy：DP）の達成度について、大学を卒業される予定の学生の皆さんへ伺い、より質の高い教育を実践するための改善に用いるものです。調査の回答には、ご自分で振り返って入学時や入学前のあなたのスコアを基礎として、考えてください。回答は5件法で、かなり身についた（1）、ある程度身についた（2）、どちらともいえない（3）、あまり身につかなかった（4）、ほとんど身につかなかった（5）を基本として設問に応じて選択肢は、かなり身についた、かなり思う、かなりできる、など適宜使い分けてください。

学籍番号..... 氏名.....

所属の学科に☑を入れてください。

- 文学部国際言語・文化学科 文学部史学・文化財学科 文学部人間関係学科
 食物栄養科学部食物栄養学科 食物栄養科学部発酵食品学科
 国際経営学部国際経営学科

1 かなり身についた
 2 ある程度身についた
 3 どちらともいえない
 4 あまり身につかなかった
 5 ほとんど身につかなかった

1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）

(回答例)→ ○ ● ○ ○ ○

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| (1) 思考力や表現力などの基礎的素養を身につきましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (2) 本学の建学の理念、教育方針等を理解できましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力を身につけましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (4) 人間と文化の探求に必要な教養は身につきましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (5) 現代社会の理解に必要な教養は身につきましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養は身につきましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (7) 情報処理の基本的なリテラシーは身につきましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (8) 英語の基本的なリテラシーは身につきましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

次へ

1 かなり身についた
2 ある程度身についた
3 どちらともいえない
4 あまり身につかなかった
5 ほとんど身につかなかった

2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）

- (1) 専門分野の基本的な知識や技術は身につきましたか。 ○ ○ ○ ○ ○
- (2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解できましたか。 ○ ○ ○ ○ ○

1 かなり身についた
2 ある程度身についた
3 どちらともいえない
4 あまり身につかなかった
5 ほとんど身につかなかった

3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）

- (1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は身につきましたか（判断力、創造力、企画力などを含む）。 ○ ○ ○ ○ ○
- (2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は身につきましたか（主体性、協働力、傾聴力などを含む）。 ○ ○ ○ ○ ○
- (3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は身につきましたか。 ○ ○ ○ ○ ○
- (4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は身につきましたか。 ○ ○ ○ ○ ○
- (5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力は身につきましたか（情報収集・分析力、PCスキルなどを含む）。 ○ ○ ○ ○ ○

次へ

4. その他

- (1) 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだことを挙げて下さい（複数選択可）。

- 1. 大学の勉強
- 2. サークル・研究会活動
- 3. 資格の取得
- 4. 留学
- 5. アルバイト
- 6. ボランティア活動
- 7. インターンシップ
- 8. スポーツ
- 9. 留学生との交流
- 10. 友人づくり
- 11. 学園祭
- 12. その他 () 記入ください。

(2) 卒業論文・卒業研究の研究室(ゼミ)の施設・設備は十分なものでしたか。

- 1. 十分に満足がいくものであった
- 2. 満足できるものであった
- 3. どちらともいえない、
- 4. やや不満足であった
- 5. 改善を希望する内容であった

(3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見があれば記入してください。(自由記述)

.....

(4) あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください(自由記述)

.....

(5) 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。

- 1. 希望通り
- 2. ある程度希望通り
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり希望通りではない
- 5. 全く希望通りではない

(6) 大学で学んだことがあなたの進路において役立つと感じていますか。

- 1. かなり役立つ
- 2. ある程度役立つ
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり役に立たない
- 5. 全く役に立たない

(7) 大学に期待すること(自由記述)

.....

(8) 卒業する学科に期待すること(自由記述)

.....

(9) 後輩へのメッセージ(自由記述)

.....

卒業後の連絡先に関するアンケート

以降は、卒業後の連絡先に関するアンケートです。アンケートにより収集する連絡先情報は、次の利用目的に従い適切に利用します。法令等に定めがある場合を除き、連絡先情報をこの利用目的の範囲を超えて第三者に提供することはありません。

- ・ 卒業生アンケートの実施のため
- ・ 卒業生の進路の把握のため
- ・ 大学・短大から卒業生への連絡のため

携帯電話番号（ハイフン(-)を入れて半角で記入してください）

個人のメールアドレス（学籍番号@s.beppu-u.ac.jp 以外のメールアドレス）

卒業後の住所（決まっていれば回答してください）

保護者の住所

保護者の電話番号（ハイフン(-)を入れて半角で記入してください）

以降の質問は留学生の方が対象です。留学生の方のみ回答してください。

- 母国
- 中国
 - 韓国
 - スリランカ
 - 台湾
 - ベトナム
 - マレーシア

母国の携帯電話番号（ハイフン(-)を入れて半角で記入してください）

以降の質問は中国からの留学生の方が対象です。

WeChatID _____

QQメールのメールアドレス _____

質問は以上です。

ご協力ありがとうございました。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

資料2. 「(3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見に関する自由記述」回答

- ・とても楽しいです。
- ・好きな作品を取り上げることができたので良かったなと思いました。
- ・アルバイトや就活とかなり被ってしまい、自身の納得出来るレベルでの卒業論文とはいかなかった。
- ・指導が厳しいと感じたが、他のゼミと違い、自分の意見を引き出しやすくしてくれていたと感じた。そのため、このような形で授業を行うとよいと思う。
- ・情報リテラシーが必須科目であり、タイピングのテストや Word、Excel の使い方の授業があったため、タイピングや Word、Excel の基本的な使い方が身につきました。卒業論文やレポートの作成にとっても役立ちました。
- ・参考文献におすすめの本などを貸していただいて、研究しやすかったです。
- ・〇〇先生のおかげで卒論を仕上げる事が出来ました。ありがとうございます。
- ・教授が親身になって、制作に協力をしてくれた。
- ・先生には丁寧に細かく、ご指導いただいたことにたいへん感謝しております。研究テーマを入学時からぶれずに、思う存分に卒業論文という形で出させて頂いたことをたいへん嬉しく思います。
- ・大学の図書館の専門書をもっと増やしてほしい。
- ・卒論研究を精一杯取り組むことができてよかったです。
- ・難しかったです。
- ・卒論制作の本の貸し出し期間をもう少し長くして欲しいです。
- ・図書館にバニスター・フレッチャーの『A History of Architecture』を置いてほしい。
- ・〇〇先生のおかげで卒業することができました。とても感謝しています。
- ・私が所属した〇〇ゼミでは、卒論の進め方について定期的に要項をまとめたプリントなどを用いて説明をしてくださり、卒論を進める上で非常に助かりました。
- ・県内他大学所蔵の論文へのアクセスが容易になれば、学生の負担軽減につながり、より活発な資料収集が行われる可能性があります。
- ・卒業論文を書くために、図書を借りる期間を伸ばしてもらえる制度があるのは、ありがたいと思った。
- ・計画的とはとても言えるものではなかった
- ・自分の進めたい研究に時間をかけて取り組むことができた。
- ・自分の研究分野の資料は少なかった
- ・とても良かった
- ・とてもスムーズに進められた。
- ・楽しかったです
- ・論文の取り寄せの際、金銭的な負担があったので、学費から賄えることができれば良いなと思った。または、学校側で無料で論文をダウンロードできる登録をしていただけたら良いなと思った。
- ・積極性さえあれば、先生方に全力でサポートしていただける点
- ・1年次から明確にするべきだと思いました。当初は曖昧だったので、不満でありました。
- ・機器が充実しており、したい研究が行えた。

- ・研究史の整理、題材、自分の考えのまとめが想像以上に難しく、先生のアドバイスが非常に役立つこととなった。
- ・たくさんの文章作成能力を身につけられました。
- ・担当のゼミの先生に、細かく丁寧に指導して頂き、スムーズに卒業論文を終えることができた。
- ・しっかりと卒業論文の指導をして下さったので、進めやすかったです。
- ・図書館にもっと福祉の本があったらいいと思った。
- ・場は用意されていたが、自身のスケジュール調整が甘く十分に活用することが出来なくて残念だった。
- ・ゼミによって卒業論文の作り方に違いが見られたためしっかりと作り方を明記し統一してほしい
- ・統計や分析について教えてくれる専門の先生が欲しい
- ・成長できた
- ・担当の先生からいろいろ助けていただきました
- ・卒業論文の為の道具は概ね学校の内部で全て賄う事が出来ました。とても使用する側としては有り難いと感じました。ありがとうございました。
- ・図書館を利用して卒業論文を制作していたため、もう少し長い時間図書館を利用できると便利だと感じた。特に、ゼミの後に利用したかったが、5限がゼミだったため授業終わりと閉館時間の時間が短く、キリが悪くなると思ったのでそのまま帰っていた。
- ・図書館に論文があまり揃っていないと感じた。
- ・卒論作成にあたり本の貸し出し期間が短く、毎回延長するのが手間なので、次に借りたい人がいない場合には長く貸し出し期間を設けて欲しかった。
- ・担当の先生からの的確な助言をしていただき、安心して進めることができた。
- ・オンラインで完結可能だと思った。
- ・ゼミの担当の先生ごとに卒論に対する考え方、捉え方が異なっていると感じたので、大まかなことでも学科内で共有をして意思統一を行い、生徒に対し4年生になる前に卒論制作にあたっての学科内説明会を設けるなどして十分な説明をした方が良いと思う。
- ・こういった経験ができてとても良かったと思えます。
- ・36号館の5階に水道の設備を設けてほしい
- ・先生は卒業制作の時にとっても助けてくれました

資料3. 在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述

- ・いろいろな知識を取りました。
- ・国内研修や海外研修で、実際にいろいろな人と話せたこと。
- ・1人で生きているのではなく、周りの人の支えがあって生きている事を学べた。
- ・専門科目の授業はどれも演習が多く、人との関わりが多かった。最初はグループワークが苦手だったが、どのように進めるか、意見をまとめるかなど、2年間でだいぶ身についた。
- ・リーダーシップを慣れ親しんで自分のものにできたと感じた学生生活だった。
- ・語彙力が上がりました
- ・レポート制作を通して、自らの考えや意見を他者の意見や理論と照らし合わせて文章にする能力が身についた。
- ・アルバイト経験を活かし、諦めないことや継続する力は成長出来たと思う
- ・他の学生と一緒に制作していくなかで、違う視点を入れながら、制作をすることができました
- ・今までどうしても緊張して何も自分の意見が言えませんでした。緊張はするものの、ある程度は自分の意見を言えるようになったことだと思います。
- ・人間関係の大変さを学んだ
- ・勉強する方法が努力より大勢だと思えるのであればどう勉強するかの専門科目を決めたほうがいい
- ・人と関わる授業(演習など)がたくさんあったため、入学以前よりコミュニケーション能力は高くなったと思っています。
- ・資格取得のための勉強や人間関係作り、アルバイト活動で成長することができました。
- ・フルーツが好きになった
- ・少ない時間で何ができるということを考える力を身につけることができた
- ・大学の委託アルバイト
- ・人前で話す時のプレゼンテーション能力
- ・たくさんの人に出会って、コミュニケーションが取れるようになった。自分と他人という関係性において、違いや同じ部分があることを理解し、人を受けとめる考え方が大きく成長できたと思う。
- ・自分で考えを持って、行動を起こすことができた。
- ・文学的知識が身につきました。
- ・作品の展示や準備(搬入・搬出)、制作など個人ではなく複数人で作業する際、効率や正確さ、丁寧さを意識して行動できるのか。また緊急時に適切な対応が出来るのかを考えられるようにはなったかと思う。定かではないが。
- ・文化会役員の仕事の中で、大勢いる文化会サークルの人員を指導してサークルハウスの清掃を行ったこと。
- ・自立すること
- ・レポートや論文を書くスキルが上がった。
- ・社会的になれた
- ・大学やアルバイト等の社会で様々な人と出会い関わる機会がありましたので、たくさんの経験をすることができました。
- ・所属している研究会の活動の中で、自治体やまちの方の力を借りながら行う作業が多くあった。ま

た、卒業論文の作成においても、地域全体で取り組まなければ、地域活性化に向けた活動は成功しないと感じた。

- ・単位取得に関して、自分で責任を持たなければならない事を学んだ。
- ・学外でのつながりを持つことで視野が広がり、今後自分が何をしていけばいいのか考えるきっかけができた。
- ・自分がやりたい勉強や活動に没頭し、人との繋がりがたくさんできたので、大学に来るまでは気付かなかった自分自身の潜在能力が磨かれ、教養や新たな価値観を身に付けることができました。そして、「挑戦」や「失敗」を恐れない自分になれたことが一番の成長です。
- ・行動範囲が広がりました。
- ・人間関係
- ・就職活動にて、自分を言葉で表現し相手に自分を理解してもらうよう努力したこと。
- ・人前でも緊張しなくなった
- ・人前で表現するメンタル(学園祭)、歴史的探究能力(主に卒業論文)
- ・コミュニケーションをとることができた
- ・教科書では語られないような歴史についての深い考察力が身についた。
- ・人との会話スキル、臨機応変にどんなタイプの人間ともある程度話せる力
- ・グループ活動を経て、人と協力することで成長できました。
- ・歴史に関する知見の深まりや考古学的な考え方ができるようになり、文化財の価値や取扱い方、保存法への知識が備わったこと。
- ・一般的な知識、考え方が身についた
- ・目標を決めて、達成すること。公務員試験に合格することや、日商簿記検定に合格する目標を立て、全て達成することができました。
- ・ゼミのリーダーを務めたことにより、場合に応じたコミュニケーションの方法や課題解決法が身についた。
- ・大学でできた友人や、アルバイト経験から、知見を広げることができました。
- ・大学は楽しかったです。4年になって身の丈を理解していなかった為に色々苦労しています。
- ・先生側の視点が分かったと、教職の授業を受けて思った。
- ・1年生の頃はコロナ禍ではなかったため、友人が作りやすい環境であった。そのため、その友人と課題やレポートをすることができた。また、アイデンティティの確立
- ・たくさんの人の価値観に触れることができたことから、物事を考える時、多面的な視点で見ることができるようになった。
- ・高校までとは違い、自分の時間をたくさん持つことができたため、何もないところから価値のあるものを作り出す経験ができました。その経験から、分析力や諦めない力、想像力などが鍛えられ大きく成長できたと思います。
- ・あまり人前で何かをする事が得意では無かったが、授業での発表や立ち回り、お礼の言葉等をやっけていくなかで自信をもって動けるようになった。
- ・多くの人と関わることで社会性が身についた
- ・サークルや研究室で役職につき、責任感を養うことが出来た。また、レポートや論文を書く力が身についた。

- ・自分の事をよく知る機会となった。
- ・色んな人に出会って人間関係を学びました。
- ・グループワークなどで仲間との共同作業、コミュニケーション能力の向上など様々な能力を身につけられたと思う。
- ・コミュニケーション能力が身につきました。
- ・どのような事でも疑問を感じた際に気軽に質問出来るようになったことです。
- ・文を構成し、相手にどう伝えるかという力が確実についた
- ・就職活動を行う中で、実際の現場に行って少ない期間ではあるが、一緒に働いて自分の目でどんな雰囲気なのかを確かめることができたことです。
- ・レポートや卒論を通しての文章の書く能力、高校時代と比べれば成長していると思う
- ・ラグビーワールドカップのアルバイト
- ・プレゼン資料を作成できるようになったこと。
- ・部活動で最後の大会で選手として出れたこと。
- ・たくさんの出会いがあり。大学に来てとてもよかった
- ・文武両道
- ・入学当初は、自身の考えを表に出すことに苦手意識を抱いていたが、卒業を控えた現在においてはそのような苦手意識は少なくなっている。
- ・発表の際に、クラスメイトと質疑応答する時間に成長を感じました。自身の考えだけでなく、他者からの意見をいただくことで、自身では気づけなかった箇所に気づくことができました。それが徐々に物事を自ら多面的に考えるようになり、色々な可能性を考える力が身につきました。
- ・研究会活動で積極的に動けたとき。
- ・自らの考えが持てるようになった。
- ・アルバイトをした事でコミュニケーション力が身についた。
- ・卒業論文を書いたこと。
- ・北陸から引越してきたため高校のころから、住む場所や周りの人々が大きく変わった。それによって、世の中には、様々な考え方や常識があるのだと実感することができ、視野が広がったように感じる。
- ・サークル活動でリーダーを務めたこと。ボランティア団体に所属したこと。
- ・他にもなくはないですが、資格取得が成長できた大きな経験だと思います。
- ・コミュニケーション能力、人前で話すこと
- ・多角的な視点や物事へのアプローチの方法が身についたと感じた。
- ・たくさんの人との関わり方が身につきました
- ・上級生とも下級生とも幅広い付き合いができたこと。
- ・自分で様々なことができるようになったと思う。コミュニケーション力に関しても同じことが言えると思います。
- ・サークルを通して、自主性と協調生が高まりました。
- ・卒論の添削指導を丁寧にしていただき、文章の力が少し身についたと思う。
- ・理想だけではなく現実を見ることができるようになったこと。
- ・人とのコミュニケーションの図り方

- ・相談援助実習や大学や広報室主催のプロジェクト
- ・人見知りの性格だったけど、積極的にコミュニケーションを取れるようになった。
- ・ラグビーワールドカップのボランティアに参加することにやって色々な経験、学ぶことがありそれらをできたことが一番成長したと感じました。
- ・分からないことは分からないままにしておかず、すぐに聞くことができるようになった。
- ・他者の意見を一度引き受けることが出来る「心の余裕」みたいなものが出来た。
- ・研究室の室長や寮長などの、集団をまとめ責任がある立場につくことや、多くの人に対して発言することが在学中多くあった。そういった経験を通して、成長できたと感じる。
- ・義務教育期間内は遠慮してしまっていたが大学では分からないことを分からないと言う力が身についた。今後としては、疑問は聞いてる限り湧き続けるので1つでも多く理解できるように取り組みたい。
- ・資格取得のために様々な教養と最後までやり遂げようとする力がより身につき、成長できたと思う。
- ・障害者の考え方や人付き合いなど
- ・アルバイト
- ・自分で考えて、自分の意思で物事を決めて行動する決断力と覚悟
- ・アルバイトを通して対人スキルが身についた
- ・自分で考えて物事を進めることができた。
- ・コミュニケーション能力
- ・ソーシャルワーカーの知識
- ・専門的な知識が身についた。
- ・「あきらめないこと」と思う
- ・卒論制作やプレゼン制作
- ・教育実習
- ・やはり自分の苦手な学習で、周囲と遅れが生じた時に、努力して追いつく事が出来た時など、学習面が多い印象です。
- ・本学校は日本人だけでなく、留学生の方も多かったためお互いの国の文化を知るなど、他国の人もコミュニケーションをはかることができた。積極性やゼミの人との協調性が身についた。
- ・入学した当初よりははるかに人とコミュニケーションが取れるようになったと思う。
- ・課題や卒論といったことに計画的にとりくめるようになった。そのおかげで公務員試験のための勉強も計画的に取り組むことができた。
- ・コミュニケーション
- ・専門分野の学びを通して、知識だけでなくそれに対する考えを口頭や文章で的確に表すことができるようになった。
- ・主体性が持てた。今まで自分から前に出て何かをすることがなかったが、大学に入学してからは自ら進んで色々なことに取り組めるようになった。
- ・様々な人とコミュニケーションを取ることができるようになった。また、専門分野に関しては入学前より非常に知識がついた。
- ・人との関わり方

・メールのやり取りや目上の方との接し方などの部分で、社会に出ても困らない程度には成長したのではないかと思う。

- ・やりたいことを見つけた
- ・部活動で熱心にあまり休まずに取り組めたこと、友人と楽しく勉強できたこと
- ・コミュニケーションスキルが上がった。自己管理能力が上がった。
- ・アルバイト経験を通して人との関わり方や言葉遣い、マナーなどの面を成長させることができた。
- ・留学を通じて、生活と授業の勉強を両立させ、日本の文化に触れることで、人生に対する考え方が変わってきたと感じています。
- ・一生懸命勉強する。
- ・先生と仲良くした
- ・絵の実力が発展したと思う。
- ・作品を作ることは自分自身が足りないことを学ぶのに最適です
- ・思考能力をアップして、まとめ能力も身につけました

資料4. 大学に期待することに関する自由記述

- ・面白いイベントが多い
- ・学費を減給してほしかった。
- ・資格科目ができるだけ被りにくいようにした方がいいと思う。
- ・英語があまり身につかなかったため、英語の授業を充実させてほしいと思います。
- ・食物棟にエレベーターをつけること
- ・他学部、他学年との交流
- ・公務員に進む方へのサポート
- ・お元気で。
- ・教室を分かりやすくしてほしい
- ・大学側が時折企業のインターンの募集をしており、自身も一度参加した。今後もこのような情報を発信すると、学生にとって新しい企業や進路の発見になると思う。
- ・私は別府大学を愛しています。だからこそ、唯一無二の大学であり続けて欲しいですし、地域に根付いた、地域に愛される大学であって欲しい。
- ・Wi-Fiの強化
- ・学生課と教務課の職員の職場意識の底上げ
- ・コロナ期間の利用してない分の設備費を返してほしい。
- ・様々な分野の深い知識が基礎知識として定着するような学習。
- ・学部学科関係なく関われる機会がもっとあればいいなと思います。
- ・もっと石垣祭開催を派手にしてほしい。
- ・別府大学駅から大学までのシャトルバスがあればありがたいです。
- ・他大学とのコミュニケーションを図る講義を取り入れてほしい。
- ・日替わり定食をもう少し数を増やしてほしい、すぐ売り切れちゃうので誰でも入れる温泉を常時開放してほしい
- ・大学からのGmailを用いた情報について、周年イベントやそれに伴う特別講義などの情報を、もう少し早めに通知していただけると非常に助かります。
- ・いい先生方ばかりだったのでそこに不満はありません。大学はともかく別府は好きです。時々でいいので素晴らしいことでその名を轟かせて、私に青春を思い出させてください。
- ・連絡は早めをお願いします。また、何か変更事があった場合、掲示板だけでなく、Moodleやメールでもお知らせをしてほしい。
- ・他の学科の交流（サークル意外）
- ・資格がたくさん取れるような学科にしてほしい。
- ・2年生辺りから進路(就職・進学)に対するガイダンスを増やすべき。
- ・大学全体のコミュニケーションを増やして行ってほしいと思います。
- ・集中して勉強できる環境づくりを強く強く求めます。
- ・頑張ってください
- ・別府という地方都市の教育拠点として、現場で役立つ人材を輩出し続けることを期待する。
- ・専門的な知識だけでなく、幅広い知識が身につくような大学であって欲しいです。

- ・他大学との交流
 - ・学生課はイベントやコロナ対策等についてもっと柔軟になってほしいです。判断が曖昧で、いつも連絡が遅かった。
 - ・コロナをはじめとする様々なトラブルからの親身な相談やアドバイス等がこれから更に必要になってくると思うのでそれらの充実を期待します。
 - ・コロナ禍の大分駅からのバスがとても助かりました。移動手段を増やされるように駐輪場も広がった事がとても素晴らしいと思いました。車通学できないか、検討して欲しいです。
- 国際交流がもっと増えればいいなと期待しています。
- ・もっと学生の思いに寄り添った大学運営をしてほしい。令和4年度の学内クーポンの使い道について（令和4年度の方は、年度をまたいで2期に分けて使える1~3年生とは違い、卒業年次生にとっては2月10日までという期間（学食は、1月16日まで）の中で、卒業論文や修士・博士論文制作、卒業制作を終わらせて以降、期末試験もほとんどなく2月10日まで大学に行くことはほとんどなかったのではないだろうか。1月16日以降は、キャンパスショップやキムラヤパンでは使えても、商品には数に限りがあり、キャンパスショップは特に早く売り切れることが学生は分かっているため、朝早くに皆が買い込み商品が買えなかった学生もいたのではないだろうか。令和3年度に支給されたクーポンでは、お菓子を買込み袋をぶら下げ電車通学していることが恥ずかしかつたと同級生が言っていたこともあった。1~3年生と使用期間を一緒にしたことや学食での使用期限がクーポン配布期間を勘案すると短かったことで卒業年次生にとっては使い方に苦慮した。学生支援機構からの通知が11月末になったり、申請が12月からになったりとスケジュール的にはバタバタしていたのかもしれないが、配布時期をズラすとか1~3年生は次年度持越しや教科書販売にも使えるとしていたのであれば、卒業年次生にも似た条件として卒業してからも使えるQUOカードや図書カードの配布でもよかったのではないだろうか。また、この時期であれば卒業証明書の発行に使えたらよかったのではないだろうか。キャンパスショップの商品では、栄養バランスに偏りが出てしまった。戴いていて意見を言うのは申し訳ないが、今回の配布時期を鑑みると時期や条件を一律ではなく、1~3年生と卒業年次生で分けるべきだったと思った。）、学生の意見を取り入れる場があると良いと思う（これからはコロナのことも落ち着いてくるであろうので、FDで代表の意見を聴いたり、文化会やスポーツ振興会の役員の意見を聴くだけでなく、400番・500番教室で学生の意見を交換する集会を設けることがいいのではないだろうか。時には要望ばかりかもしれないが、大学は学生とともに作っていくものではないだろうか。意見箱は書きにくいし、意見箱を通しての改善結果が分からなかった。）、各学科に助手がいる（今いる助手が卒業生かどうかの把握はしていないが、年齢もそう遠くなくかつその学科の卒業生であれば学生が話しやすいこともあると思う。）
 - ・静かに勉強できる場所をもう少し提供してほしい。
 - ・人によるが、教授の中で生徒への寄り添いが足りておらず、自己満足してる方もいるように思える。一方的に情報を与えるようにも受け取れるため、学び合える場になることを願う。
 - ・大きな出来事があった際の対応
 - ・駐車場がもう少し欲しい
 - ・順調に進むということ
 - ・これからも、良き大学でい続けていただく事を期待します。
 - ・ますますのご発展をお祈り申し上げます。

- ・ 研究
- ・ より人間性が素晴らしい人材を輩出してほしい。
- ・ 卒論発表で私情を挟んで特定の研究室を攻撃してきた先生がいたので、以後こういったことがないようにしてほしい。
- ・ 友人の幅が広がる可能性がある。より深い知識を付けることができる。アルバイト経験をする時間が大いにある。
- ・ 大学がより良く発展し、より多くの人材を輩出することを願っています。
- ・ 無事に卒業する
- ・ 食堂の料理を豊富にすること

資料5. 卒業する学科に期待すること（自由記述）

国際言語・文化学科

- ・ある程度会話に使える英語力
 - ・今後の活動も期待してます！（*´ω`*）
 - ・今までのように、生徒に寄り添っていただけるとありがたい。
 - ・他の学科との交流が増えることを期待している。
 - ・専門的な知識を自ら身につけたいと思えるような学科であって欲しいです。私自身も専門的な知識を学ぶ際、とても楽しくさらに知識を深め、たくさんのことを学びたいと感じました。
 - ・もっと流行を取り入れた、という言い方は変ですが、もしこれから先に何か流行の本などが現れた時は、授業時にその時に流行している文学が、なぜ流行ったのか・どういった点で優れているのかなどは、その時の他の文学や授業で取り扱った別の作品と比較して相違点などを出していただけると、より双方の作品への興味が出るのではないかと思います。
- 一意見なので、ご考慮頂けなくて結構ですが、より文学が楽しくなるような授業があれば個人的には喜ばしいと考えます。
- ・教授の当日欠席。また教授都合の補習はオンデマンドにするなど、休みの日に学校に行かなくて済むような対応をして欲しい。
 - ・たくさん専門職に就く生徒が増えてほしい。
 - ・これからの世代は、一生懸命に知識を身につけ、人生の基盤を築いて行ってほしいと思っています
 - ・ソフト技術を習得した

史学・文化財学科

- ・発掘調査等の実習をもっとできるようにしてほしい
- ・ディスカッションのような授業を増やした方がいいのではないか(教職を除く)。英語は院試に進む人のためにも2年間は継続して行う必要があると思う(外書講読を除く)。
- ・尊敬すべき、素晴らしい先生方がいらっしゃいますし、ポテンシャルを秘めた面白い学生たちもいるので、九州地方における歴史学の雄として輝き続けて欲しい。
- ・今後益々の発展
- ・専門的な知識、実践的な技能が確実に身につけることができたため、現状で大変満足です。非常に満足いくものであったのでこのまま進んでくれると嬉しい。
- ・今後とも末永い発展をお祈りしています。
- ・日本でもトップクラスの史学科に成長してください
- ・専門科目の研修を増やすなど、もっと具体的に組み入れるようにしたらいいと思う。
- ・歴史を現在の価値観で測るのではなく、当時の価値観と照らし合わせて学ぶ必要がある。
- ・九州のみならず、日本全国の歴史学・考古学などの教育・研究機関として益々の躍進を期待したい。
- ・様々な分野において自分に、そして社会に誇れる成果や研究を行なってほしい。
- ・誰も手を出したことがないことや先輩が出来なかったことを頑張りたい

- ・自信にも言えることだが、コミュニケーション能力の不足が散見している。この学科にいる場合は特に他者と交流することを大切にすることが望ましいと思う。
- ・進路に必要なスキルや資格を得ること。

人間関係学科

- ・病院実習をしたかった。
- ・専門科目の授業はわかりやすく、ためになることばかりだったため、続けてほしいと思っています。
- ・他学科との交流が少ない
- ・専門分野についてもっと詳しく学びたいと思いました。
- ・国家資格を取得できる学生がもっと増えればいいなと期待しています。
- ・コースの担当教員同士で情報共有や物事の確認、連絡をしっかりとしてほしい（教員同士での行き違いがあったこともあった）
- ・資格取得率 100%
- ・学んだ知識を活用することができるということ

食物栄養学科

- ・食物棟にエレベーターをつけること
- ・みんな頑張ってほしい
- ・たくさんの管理栄養士が輩出してほしいです
- ・これからも互いに切磋琢磨しあいながら、頑張ってほしいです。
- ・学生の言葉にもう少し耳を傾ける
- ・調理師免許の資格がとれるようにしたほうが良いと思う。
- ・授業時間内に収まるような授業内容、量より質を上げた国試対策
- ・常に新しい情報をキャッチして、学生にたくさんの経験をさせてあげてください。
- ・課題を出して学生に無理やり勉強させるのではなく、学生の興味や関心を引き出すようなアプローチで、学生自身をもっと勉強してみたいと主体的に思える環境づくりをしてほしい

発酵食品学科

- ・面白いイベントが多い
- ・他の大学ではしないような実験をしてほしい
- ・発酵食品学科で良かったと私は思うので、これからの新入生にもそう思ってもらえる学科であってほしい！

国際経営学科

- ・コロナがある程度収束に向かっているので、個人での発表形式による講義があるとよいのではないかと考える。
- ・これから先、経営をもっと学んでいきたいと思う学生が増えたらいいなと思います。
- ・集中して勉強できる環境づくりを強く強く求めます。
- ・頑張ってください
- ・とても良い学科だった。
- ・3年生まで空きコマがあったりとかなり時間を要していたため、もう少し授業の時間割を考えてほしい。
- ・教授達が元気でおられますように。
- ・もっと実践授業があること

資料6. 後輩へのメッセージ（自由記述）

- ・頑張れ
- ・留年、遅刻はしないように。
- ・頑張ってください。
- ・バイトはするべき
- ・他の学生と一緒に制作していき、違う視点からの意見も参考にし、自分の作品を作り上げてください
- ・進学して不安なことも多々あると思いますが、その分楽しいこともあるのできっと大丈夫です。楽しんでいきましょう。
- ・もうもっと頑張ります
- ・方法は何よりだ
- ・1年生の時から計画的にビジョンを描いて行動することが大切だと思う。
- ・頑張ってください。
- ・食物棟にエレベーターがつくといいですね
- ・卒論は計画を立てて堅実にやろうね、地獄を見るよ
- ・嫌なこともやってるうちに何とかなることが多いから頑張れ。逃げれば、1つ、進めば、2つ！！
- ・頑張ってください
- ・高校より緩いかもしれませんが、しっかりと勉強していないと卒業はできません。課題を出す、出席をすることをちゃんと続けてください。
- ・私も1度参加した駅のプロジェクト(2020)で感じたこと、成長したことがあり身につくと今までよりも行動範囲が広がる良い機会になるのでお話がきたら積極的に参加すると勉強になるよ！大学生活楽しんで！！
- ・頑張ってください
- ・就活と卒論は早めに頑張った方がいいですよ。後回しにしたら痛い目にあいます。
- ・4年間の学生生活は一瞬で通り過ぎていきます。あっという間の日々です。アルバイトや友達と過ごす時間も大切ですが、社会人や大人になることをしっかり考える時間も必要で、これからどうしていくのかを考えることも大切だと感じました。頑張ってください。
- ・インターンなどは、積極的に参加をするといいと思う。
- ・これからは自分で考えて頑張る事が一番大切だと思います。なので、自分で決めたことを周りになんと言おうと、逃げずに粘り強く続けてほしいです。頑張ってください。
- ・やりたいことを思う存分、とことんやってください。学生のうちはお金はありませんが、お金では買えないものをたくさん得ることができます。それは、「人」と「時間」です。特に前者は大切だと思います。人との繋がり、ご縁を大切にしていってほしいです。
- ・悔いの無いように学生生活を送ってください。
- ・遊ぶことも大事ですが、講義等もしっかり受けてください！
- ・一度しかない大学生活を全力で楽しんでください。
- ・歴史という学問は、知れば知るほど当時が色づき、繋がり、鮮明に見えてくる非常に奥深く楽しいもので、今から新しく、もしくは更に色づいていく様子を感じることができるあなた達が羨ましい。

- ・野球部がんばれ
- ・大学生活を充実させて、楽しみながら頑張ってください。
- ・4年生になり、自分の向かう進路で後悔することのないよう頑張ってください！！
- ・卒論はみんな早めにしようね！お兄さんとのお約束！
- ・卒業論文は自分の想像以上に大変です。面倒な時が大半ですが、ほんの少しだけでも、先行研究や本を探すだけでも、内容をまとめて軽く書くだけでも、何でも構いません。毎日続けることを強くおすすめします。
- ・史学文化財学科が別府大学のアイデンティティーです。でも、専門職に進まなければほかのどの学科よりつらい将来を迎えます。直感と若さを信じて、決断はお早めに。
- ・就活は早めの行動が吉。しかし、波に流されず自身のやりたいことを見つけることが先。これからの大学生活に幸あれ。
- ・是非とも最後まで頑張ってください
- ・頑張ってください
- ・頑張れエエエエ
- ・苦しくても支えてくれる仲間がいてよかったと最後思えるように頑張ってください。
- ・みんなと楽しみを作りながら、国試の勉強や卒論を乗り切ってください。頑張ってください。
- ・頑張ってください
- ・何事にも負けずに頑張ってください。
- ・頑張ってください。
- ・頑張ってください
- ・卒論大変ですが、頑張ってください
- ・大学生活の中で様々なことに挑戦して自分と向き合いくっつけてください。
- ・1年生の頃はわからないことだらけで不安になるかもしれませんが、徐々に慣れていきます。2年生になる頃には不安も消え、楽しく充実した大学生活になると思います。
- ・自身の専門分野の知識をどんどん深めていってください。
- ・就職活動の準備を早く始めること。
- ・日常の些細なことでも案外学べるがあるので、就活等で話に困ったときはいつもの日常に目を向けてみることをおすすめします。
- ・積極性を持ってほしい
- ・4年間色々なことに手を出して、自分を知っていってください。頑張ってください！
- ・勉強は気が済むまでしてください。これでいいやと思うとその通りの結果です。キャリアは嘘をつきません。勉強してきた事が自分の武器になります。
- ・別府大学での学生生活楽しんでください。
- ・就活、卒業論文はとても大変だけど、めげずに頑張ってください。
- ・勉学だけでなく、社会に出ても役に立つように先輩後輩との関係も大事にして下さい。なにより自分が楽しくなるように過ごせばいいと思います。
- ・勉学に励むのはもちろん、遊ぶこともしっかりと！大学生活を謳歌してください。そして、貴重な温泉がある別府というところで学んでいたり、別府大学には、別府”温泉”大学というネーミングもあるので、卒業するまでに1度や2度とは言わず、何度でも温泉につかって勉学や生活の疲れを吹き

飛ばしてくださいね。

- ・大学の勉強も大切ですが、色々な交友関係を広げることにチャレンジしてみてもいいかもしれません！
- ・個人的にはサークルに参加してみたり旅行に行く事をおすすめです！
- ・大学は社会に行くまでの準備期間と考え、いろんなことに挑戦して得意なことを増やしてほしい
- ・学びは楽しい！学びを謳歌してください！！
- ・がんばれ
- ・気楽にやってくこと
- ・大変だと思うけど頑張ってください。
- ・頑張れ
- ・がんばれ
- ・わからないことまたは困ることがあれば、よく先生と話し合おう
- ・頑張ってください
- ・どうか文学を楽しんでください！
- ・単位は余裕を持ってとっておきましょう！
- ・大学では、基本的なことしか学べないので、自分で資格の勉強ややりたいことを見つけてください
- ・日々の積み重ねが大事だと感じています。頑張ってください。
- ・大学生活を頑張れば頑張るほど、自分の希望に沿った就職先に決まると感じました。
- ・今しか遊べないと思うので遊んどいて下さい。就活の面接の時に話せる事を何か 1 つしておいた方がいいかもしれません。
- ・卒論はちゃんと書いた方がいい。
- ・入学前から夢を持ち、夢に向かって真っ直ぐに頑張ってください。
- ・ふぁいていーん
- ・頑張ってねー
- ・やりたいことはやるだけやって、勉強やサークル、アルバイトなど経験できるものは沢山して、これからの大学生活を楽しんでください。
- ・発酵食品は今注目されてる食品なので、将来的に絶対役に立つし、味噌や醤油などの身近な調味料を深く学ぶことができるので、私は、商品ラベルを見たりするのがとても楽しくなりました。諦めずに最後まで頑張って卒業してください！！恋愛も運動もアルバイトも全力で楽しんで！
- ・皆さんもぜひ、学校部門のためにご尽力ください。
- ・ありのまま あるかまま
- ・もっと積極的に日本人の方と話してみましよう。きっとみんなと良い仲になれるでしょう。
- ・頑張れ
- ・人生がどんなに退屈でも、真理を求める足取りをやめないで